



Research Survey Reports in Information Studies, The University of Tokyo

No.27

2011

CONTENTS

A Comparative Survey of Anxiety about Internet Use in 10 Countries

{ <table> <tr> <td>HASHIMOTO, Yoshiaki,</td> <td>NAKAMURA, Isao</td> </tr> <tr> <td>SEKIYA, Naoya</td> <td>OGASAHARA, Morihiro</td> </tr> <tr> <td>YAMAMOTO, Taro</td> <td>CHIBA, Naoko</td> </tr> <tr> <td>MAGATA, Fumihiko</td> <td>TAKAHASHI, Katsumi</td> </tr> <tr> <td>UEDA, Hiroki</td> <td>HIRATA, Shinichi</td> </tr> </table> }	HASHIMOTO, Yoshiaki,	NAKAMURA, Isao	SEKIYA, Naoya	OGASAHARA, Morihiro	YAMAMOTO, Taro	CHIBA, Naoko	MAGATA, Fumihiko	TAKAHASHI, Katsumi	UEDA, Hiroki	HIRATA, Shinichi 1
HASHIMOTO, Yoshiaki,	NAKAMURA, Isao										
SEKIYA, Naoya	OGASAHARA, Morihiro										
YAMAMOTO, Taro	CHIBA, Naoko										
MAGATA, Fumihiko	TAKAHASHI, Katsumi										
UEDA, Hiroki	HIRATA, Shinichi										

A survey for residents' behavior affected by a torrential rain
: a case study from the town of Sayo in Hyogo prefecture in 2009

{ <table> <tr> <td>TANAKA, Atsushi</td> <td>ICHIZAWA, Jousuke</td> </tr> <tr> <td>MIYAGAWA, Yuji</td> <td>YOSHII, Hiroaki</td> </tr> <tr> <td>JIBIKI, Yasuhito</td> <td>UDAGAWA, Saneyuki</td> </tr> <tr> <td>SEKIYA, Naoya</td> <td>NAKAMURA, Isao</td> </tr> <tr> <td>MATSUO, Ichiro</td> <td></td> </tr> </table> }	TANAKA, Atsushi	ICHIZAWA, Jousuke	MIYAGAWA, Yuji	YOSHII, Hiroaki	JIBIKI, Yasuhito	UDAGAWA, Saneyuki	SEKIYA, Naoya	NAKAMURA, Isao	MATSUO, Ichiro	 49
TANAKA, Atsushi	ICHIZAWA, Jousuke										
MIYAGAWA, Yuji	YOSHII, Hiroaki										
JIBIKI, Yasuhito	UDAGAWA, Saneyuki										
SEKIYA, Naoya	NAKAMURA, Isao										
MATSUO, Ichiro											

Internet Addiction in Japanese Twenties
: Group Interview with 21 Digital Druggers

{ <table> <tr> <td>OHNO, Shiroh</td> <td>KOMURO, Hisako</td> </tr> <tr> <td>HASHIMOTO, Yoshiaki</td> <td>OGASAWARA, Morihiro</td> </tr> <tr> <td>HORIKAWA, Yusuke</td> <td></td> </tr> </table> }	OHNO, Shiroh	KOMURO, Hisako	HASHIMOTO, Yoshiaki	OGASAWARA, Morihiro	HORIKAWA, Yusuke	 101
OHNO, Shiroh	KOMURO, Hisako						
HASHIMOTO, Yoshiaki	OGASAWARA, Morihiro						
HORIKAWA, Yusuke							

情報学研究
調査研究編

東京大学大学院情報学環

情報学研究 調査研究編

Research Survey Reports in
Information StudiesInterfaculty Initiative in Information Studies
The University of Tokyo

27

2011 No. **27**

東京大学大学院情報学環

東京大学大学院情報学環

情報学研究 調査研究編

Research Survey Reports in
Information Studies

Interfaculty Initiative in Information Studies
The University of Tokyo

2011 No. **27**

東京大学大学院情報学環

Research Survey Reports in Information Studies
The University of Tokyo

No.27 目 次 (Contents)

インターネット利用の不安をめぐる 10 カ国比較調査

橋元 良明、中村 功 関谷 直也、小笠原盛浩 山本 太郎、千葉 直子 間形 文彦、高橋 克巳 植田 広樹、平田 真一	…………… 1
--	---------

2009 年 8 月 9 日豪雨災害（兵庫県佐用水害）における住民の対応に関する調査研究

田中 淳、市澤 成介 宮川 勇二、吉井 博明 地引 泰人、宇田川真之 関谷 直也、中村 功 松尾 一郎	…………… 49
---	----------

ネット依存の若者たち、21 人インタビュー調査

大野 志郎、小室広佐子 橋元 良明、小笠原盛浩 堀川 祐介	…………… 101
-------------------------------------	-----------

インターネット利用の不安をめぐる 10 カ国比較調査

A Comparative Survey of Anxiety about Internet Use in 10 Countries

橋元良明	HASHIMOTO, Yoshiaki	中村 功	NAKAMURA, Isao
関谷直也	SEKIYA, Naoya	小笠原盛浩	OGASAHARA, Morihiro
山本太郎	YAMAMOTO, Taro	千葉直子	CHIBA, Naoko
間形文彦	MAGATA, Fumihiko	高橋克巳	TAKAHASHI, Katsumi
植田広樹	UEDA, Hiroki	平田真一	HIRATA, Shinichi

目次

0. 調査の概要	小笠原盛浩
1. インターネット利用の全般的傾向	小笠原盛浩
2. ネット不安以外の不安事象	関谷直也
3. ネット利用時の不安・被害経験・マスコミ上のニュース接触	中村功
4. プライバシー不安とセキュリティ対策	橋元良明
5. CGM 不安・サービス利用時の着目点	
・リスクと発生確率・子どもの有害情報接触	山本太郎
	千葉直子
	間形文彦
	高橋克巳
	植田広樹
	平田真一

橋元良明	東京大学大学院情報学環
中村 功	東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科
関谷直也	東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科
小笠原盛浩	東京大学大学院情報学環
山本太郎	日本電信電話株式会社 NTT 情報流通プラットフォーム研究所
千葉直子	日本電信電話株式会社 NTT 情報流通プラットフォーム研究所
間形文彦	日本電信電話株式会社 NTT 情報流通プラットフォーム研究所
高橋克巳	日本電信電話株式会社 NTT 情報流通プラットフォーム研究所
植田広樹	日本電信電話株式会社 NTT 情報流通プラットフォーム研究所
平田真一	日本電信電話株式会社 NTT 情報流通プラットフォーム研究所

本稿は、東京大学、東洋大学、日本電信電話株式会社の3者による共同研究「ネットワーク利用における安心に関する研究」（平成22年8月から平成23年2月）の成果の一部である。詳細は報告書『インターネット利用に際する不安の10カ国国際比較調査』（2010年12月）を参照。

0. 調査の概要

0.1 調査の目的

東京大学大学院情報学環・東洋大学社会学部とNTT情報流通プラットフォーム研究所による研究グループは、人々がインターネット利用に対して抱く「安心」と「不安」の意識について研究に取り組んできた。

2009年度はインターネット利用に対する不安意識の実態や形成要因を調べるため、東京都23区の住民を対象にアンケート調査（インターネットに関する調査）を実施した。今年度はこれをさらに発展させる形で、日本を含む10ヶ国各330名に対して電話による国際比較調査を実施した。

0.2 調査の方法

本調査の実施方法は以下のとおりである。

(1)調査地域：日本（東京）、アメリカ（ニューヨーク）、チリ（サンティアゴ・デ・チレ）、中国（上海）、韓国（ソウル）、シンガポール、イギリス（ロンドン）、フィンランド（ヘルシンキ）、ドイツ（ベルリン）、フランス（パリ）の10カ国の最大規模の都市

(2)調査機関・調査期間：

調査地域	調査機関	調査期間
日本	NTT データスミス	1月23日 ～ 1月24日
アメリカ	IMPETUS RESEARDH PVT LTD	1月25日 ～ 2月3日
チリ	The MUND Group	1月21日 ～ 1月31日
中国	N-Dynamic Research & Consultancy	1月22日 ～ 1月27日
韓国	Dongser Research	1月20日 ～ 1月29日
シンガポール	Joshua Research Consultants Pte Ltd	1月19日 ～ 2月3日
イギリス	IMPETUS RESEARCH PVT LTD	1月25日 ～ 2月3日
フィンランド	TNS Gallup Oy	1月26日 ～ 2月1日
ドイツ	COBUS Marktforschung GmbH	1月20日 ～ 1月30日
フランス	Call Marketing	1月23日 ～ 2月2日

(3)調査対象者：15歳以上69歳以下の男女

(4)標本数：各国330標本（計3300標本）

(5)抽出方法：性・年齢層別割当法。

男女12セル毎、15歳～19歳男女各15人、20歳～29歳・30歳～39歳・40歳～49歳・50歳～59歳・60歳～69歳男女各30人に達するまで回収を行い、各国で合計330標本を収集した。

(6)調査方法：ランダムに電話番号を作成して電話をかける（RDD法）、または既存の電話番号リストからの無作為抽出による電話調査法。

(7)主な質問項目

インターネットの利用時間

インターネットで利用しているサービス

インターネット利用に伴うトラブルの知識

インターネットに限らず不安を感じる事象

インターネット利用に伴う漠然とした不安感

インターネット上で個人情報を表出することへの不安感

インターネット利用に伴う個別具体的なトラブルへの不安感

インターネットショッピングで注目するポイント

BBS・ブログ・SNSに書き込む際に注目するポイント

BBS・ブログ・SNSに書き込むことへのイメージ

インターネット利用に伴うトラブルを苦痛と感じる度合い

インターネット上で子供が有害情報を見ることの原因とされているもの

インターネット利用の際に行っているトラブル予防策

インターネット利用で接触する相手への信頼感

1. インターネット利用の全般的傾向

1.1 インターネット利用率

(1) 国別のインターネット利用率

本調査ではインターネット利用をパソコンでのメール・ウェブサイト利用（PC ネット）、携帯電話でのメール利用（携帯メール）、携帯電話でのウェブサイト利用（携帯ウェブ）の3パターンに分類して各国の利用率を調べた。表 1.1 に調査対象国別の利用率を示す。

日本のインターネット利用率を他国と比較すると、PC ネット利用率は 73.3% で 10 カ国中 8 位、携帯電話メール利用率は 79.7% で 1 位（韓国と同率）、携帯ウェブ利用率は 40.6% で 2 位であった。日本は PC ネット利用率では高くないが、携帯電話からインターネットを利用する率は高くなっている。

アメリカの PC ネット利用率は 99.1% と 10 カ国中最も高く、チリは 50.0% で最も低い。中国の携帯電話からのインターネット利用率はメール・ウェブともに高い（メール：79.4%、ウェブ：49.1%）。韓国では携帯メール利用率は高い（79.4%）ものの、携帯ウェブ利用率は 7.6% と最も低かった。

表 1.1 インターネット利用率

（単位：％）

	全体	日本	アメリカ	チリ	中国	韓国	シンガポール	イギリス	フィンランド	ドイツ	フランス
パソコンでのメール・ウェブ利用率	77.4	73.3	99.1	50.0	83.0	75.2	79.4	68.5	84.8	78.2	82.4 ***
		cd	a	e	bc	bcd	bc	d	b	bcd	bc
n	3300	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330
携帯電話でのメール利用率	62.1	79.7	73.0	44.5	79.4	79.7	78.2	41.2	59.4	38.0	47.9 ***
		a	a	c	a	a	a	c	b	c	c
n	3299	330	330	330	330	330	330	330	330	329	330
携帯電話でのウェブ利用率	21.4	40.6	27.6	10.6	49.1	7.6	14.8	33.0	9.7	11.2	9.7 ***
		ab	c	d	a	d	d	bc	d	d	d
n	3283	330	330	330	330	330	330	330	330	313	330

表注 1 分散分析の結果： *** p<0.001

表注 2 数値下の a, b, c, d は同記号間では Tukey 法により p<0.05 の有意差がないことを示す。

(2) 性別・年齢層別のインターネット利用率

インターネット利用率を性別・年齢層別に比較したものが表 1.2 である。性別と利用率の関係を見ると、日本では PC ネット・携帯メール・携帯ウェブのいずれも性別による有意差はない。他の国で性別による有意差があるのは中国（PC ネット、携帯ウェブ）、イギリス（PC ネット）、フランス（携帯ウェブ）であった。

インターネット利用率を年齢層別に比較すると、日本では PC ネット利用率は 60 代、携帯メール利用率は 40 代以上、携帯ウェブ利用率は 50 代以上で他の世代よりも有意に低くなっている。他の国でもおおむね年齢層が高くなるほど利用率が低くなる傾向が

あるが、アメリカ（PC ネット）、中国（携帯ウェブ）、イギリス（PC ネット、携帯メール）、フィンランド（携帯ウェブ）、ドイツ（PC ネット）では年齢層による有意な差は見られなかった。

表 1.2 インターネット利用率（男女別・年齢層別）

（単位：％）

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代
パソコンでのメール・ウェブ利用								
日本	77.6	69.1	80.0 a	91.7 a	90.0 a	81.7 a	70.0 a	30.0 b ***
アメリカ	99.4	98.8	100.0	98.3	98.3	100.0	100.0	98.3
チリ	47.9	52.1	100.0 a	100.0 a	56.7 b	40.0 bc	20.0 cd	8.3 d ***
中国	87.9	78.2 *	93.3 a	95.0 a	95.0 a	91.7 ab	70.0 b	58.3 c ***
韓国	77.0	73.3	93.3 a	96.7 a	88.3 ab	81.7 c	63.3 bc	36.7 c ***
シンガポール	83.0	75.8	100.0 a	100.0 a	91.7 ab	68.3 c	71.7 bc	55.0 c ***
イギリス	73.9	63.0 *	76.7 ab	63.3 ab	53.3 b	81.7 a	75.0 ab	65.0 ab
フィンランド	86.1	83.6	83.3 a	93.3 a	95.0 a	85.0 a	88.3 a	63.3 b ***
ドイツ	78.8	77.6	82.8	86.0	78.9	79.7	77.6	68.5
フランス	84.8	80.0	96.7 a	95.0 a	86.7 ab	83.3 ab	66.7 b	73.3 b ***
携帯電話でのメール利用								
日本	75.8	83.6	100.0 a	91.7 ab	91.7 ab	78.3 bc	71.7 bc	55.0 c ***
アメリカ	75.2	70.9	96.7 a	85.0 ab	81.7 ab	81.7 ab	71.7 b	33.3 c ***
チリ	47.3	41.8	86.7 a	93.3 ab	60.0 b	48.3 b	0.0 c	0.0 c ***
中国	80.6	78.2	83.3 a	93.3 a	88.3 a	90.0 a	68.3 a	55.0 b ***
韓国	77.6	81.8	90.0 ab	96.7 a	80.0 a	88.3 b	80.0 ab	48.3 b ***
シンガポール	78.8	77.6	83.3 ab	93.3 a	88.3 a	63.3 b	81.7 ab	61.7 b ***
イギリス	40.6	41.8	40.0	51.7	36.7	33.3	38.3	46.7
フィンランド	55.2	63.6	66.7 a	68.3 a	73.3 a	65.0 a	50.0 ab	36.7 b ***
ドイツ	33.6	42.4	58.6 a	49.1 ab	40.4 ab	30.5 b	22.4 b	41.5 ab **
フランス	43.0	52.7	86.7 a	70.0 ab	50.0 ab	45.0 abc	33.3 cd	21.7 d ***
携帯電話でのウェブ利用								
日本	41.2	40.0	66.7 a	65.0 a	48.3 ab	46.7 ab	23.3 bc	6.7 c ***
アメリカ	30.9	24.2	43.3 ab	51.7 a	38.3 ab	25.0 bc	11.7 c	3.3 c ***
チリ	11.5	9.7	16.7 ab	16.7 ab	25.0 a	8.3 ab	0.0 b	0.0 b ***
中国	56.4	41.8 *	80.0 a	75.0 ab	53.3 ab	56.7 b	23.3 b	21.7 ab
韓国	6.7	8.5	20.0 b	10.0 a	6.7 a	5.0 b	3.3 b	6.7 b ***
シンガポール	17.6	12.1	6.7 b	38.3 a	31.7 a	3.3 b	1.7 b	3.3 b ***
イギリス	33.9	32.1	63.3 a	26.7 b	31.7 b	30.0 b	35.0 b	26.7 b *
フィンランド	15.8	3.6	16.7	15.0	11.7	10.0	5.0	3.3
ドイツ	12.3	10.1	11.1	18.2	19.6	10.3	3.6	3.9 *
フランス	13.3	6.1 *	30.0 a	21.7 ab	3.3 c	8.3 bc	3.3 c	1.7 c ***

表注 1 χ^2 乗検定（性別）、分散分析（年齢層別）の結果： * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

表注 2 数値右の a. b. c は同記号間では Tukey 法により p<0.05 の有意差がないことを示す。

1.2 インターネット利用時間

(1) 国別のインターネット利用時間

次に、インターネット利用サンプルに対して平日 1 日あたりのインターネット利用時間をたずねた。表 1.3 は調査対象国別の利用時間を示したものである。日本の利用時間は PC ネットが 150.0 分で 5 位、携帯メールが 33.2 分で 6 位、携帯ウェブが 54.9 分で 5 位であり、他国と比べて特に長いほうではない。

PC ネット利用時間では中国（259.2 分）が調査対象国の中で群を抜いて長く、携帯メー

ル利用時間ではアメリカ（95.9分）、中国（73.2分）、シンガポール（88.4分）が長い。携帯ウェブ利用時間でも中国（100.9分）が飛びぬけて長く、中国はPC、携帯を問わず調査対象国の中でインターネットを最も長時間利用している。

表 1.3 インターネット利用時間

（単位：分）

	全体	日本	アメリカ	チリ	中国	韓国	シンガポール	イギリス	フィンランド	ドイツ	フランス	
パソコンでのメール・ウェブ利用時間	160.8	150.0	148.7	155.6	259.2	145.6	210.9	116.4	166.3	134.1	111.0	***
n	2554	242.0	327.0	165.0	274.0	248.0	262.0	226.0	280.0	258.0	272.0	
携帯電話でのメール利用時間	51.3	33.2	95.9	5.1	73.2	42.2	88.4	69.2	19.1	28.5	17.3	***
n	2048	263.0	241.0	147.0	262.0	263.0	258.0	136.0	195.0	125.0	158.0	
携帯電話でのウェブ利用時間	63.5	54.9	67.6	13.9	100.9	39.4	68.1	62.4	21.9	38.1	37.8	***
n	2596	134	91	35	162	25	49	109	32	35	32	

表注1 分散分析の結果： *** p<0.001

表注2 数値下の a, b, c, d は同記号間では Tukey 法により p<0.05 の有意差がないことを示す。

(2) 性別・年齢層別のインターネット利用時間

インターネット利用時間を性別・年齢層別に比較したものが表 1.4 である。日本では男性のインターネット利用時間が女性と比べて有意に長い（男性：178.9分、女性：117.5分）。チリでは女性の利用時間が男性よりも長い（男性：131.8分、女性：177.4分）、その他の調査対象国では性別による有意な利用時間差は見られない。

インターネット利用時間を年齢層別に比較すると、日本ではPC ネット利用時間が20代で最も高く60代で最も落ち込んでいる。携帯メール・携帯ウェブ利用時間も50～60代で落ち込む傾向がある。10代ではPC ネット利用時間が比較的短い一方で、携帯メール・携帯ウェブの利用時間が最も長くなっている。他の調査結果でも指摘されているように（gooリサーチ，2010など）、携帯インターネットのヘビーユーザー層は10代である。

他の国に目を向けると、PC ネット利用時間の年齢層の差は国によって異なり、50～60代の利用時間が短い国（アメリカ・中国・シンガポール・フランス）、10代の利用時間が短い国（中国・フィンランド）、年齢層による有意差が見られない国（チリ・韓国・イギリス・ドイツ）がある。携帯メール利用時間は大半の国で年齢層による差が見られ、アメリカ・韓国・シンガポール・イギリス・フランスで10代の利用時間が最も長い。携帯ウェブ利用時間は普及率自体が低いこともあり、年齢層による差がほとんど見られない。ドイツで50代の利用時間が長くなっているのは、50代の携帯ウェブ利用者のセル（n=4）にたまたまヘビーユーザーが含まれていたためである。

表 1.4 インターネット利用時間（男女別・年齢層別）

（単位：分）

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	
パソコンでのメール・ウェブ利用									
日本	178.9	117.5 **	125.4 ab	215.3 a	129.1 ab	138.2 ab	145.8 ab	87.8 b	*
アメリカ	145.7	151.8	189.0 a	195.8 a	164.2 ab	152.0 ab	125.0 bc	86.5 c	***
チリ	131.8	177.4 *	150.5	147.0	179.1	155.0	160.0	120.0	
中国	258.6	259.9	191.1 b	330.4 a	317.3 a	248.5 ab	197.9 b	193.8 b	***
韓国	161.4	129.1	145.4	152.2	193.8	117.9	119.1	120.2	
シンガポール	225.0	195.4	213.0 ab	256.3 a	254.2 a	194.4 ab	173.1 ab	123.8 b	**
イギリス	119.3	112.9	122.6	144.1	98.1	115.1	126.1	90.9	
フィンランド	162.5	170.1	90.7 c	188.7 ab	243.3 ab	160.5 abc	127.7 bc	128.8 bc	***
ドイツ	150.9	117.0	126.0	143.6	148.6	131.8	134.9	113.6	
フランス	114.6	107.2	162.4 a	123.9 ab	108.2 ab	113.5 ab	85.6 b	84.0 b	*
携帯電話でのメール利用									
日本	32.4	33.9	61.5 a	52.0 ab	26.8 bc	22.6 bc	22.7 bc	15.2 c	**
アメリカ	96.6	95.2	139.7 a	99.0 b	96.6 b	88.2 b	75.4 b	85.8 b	**
チリ	5.1	5.1	5.5	5.1	5.3	4.7			
中国	67.1	79.4	66.0 b	144.5 a	52.5 b	57.8 b	48.8 b	46.4 b	***
韓国	45.2	39.4	128.4 a	82.3 a	30.6 b	14.0 b	9.2 b	7.2 b	***
シンガポール	71.2	105.9	187.8 a	126.3 ab	63.9 bc	104.9 bc	48.8 bc	34.5 c	***
イギリス	77.4	61.3	127.5 a	77.9 ab	133.2 a	39.6 ab	27.0 b	40.1 ab	*
フィンランド	24.8	14.2	36.3	12.9	31.5	13.7	12.0	10.6	
ドイツ	34.7	23.5	23.1	37.3	36.3	32.3	23.8	15.8	
フランス	20.6	14.5	35.9 a	18.4 ab	8.4 b	13.5 ab	9.0 b	17.1 ab	*
携帯電話でのウェブ利用									
日本	63.4	46.2	108.8	59.3	35.1	57.9	13.9	10.0	*
アメリカ	62.3	74.3	76.2	73.9	56.1	62.3	65.7	90.0	
チリ	13.9	13.9	15.0	15.0	13.8	11.2			
中国	95.1	108.7	89.0	119.7	93.8	102.7	114.3	56.2	
韓国	53.2	28.6	45.8	19.3	105.8	11.7	20.0	24.3	
シンガポール	64.1	73.8	150.0	70.9	56.6	45.0	60.0	90.0	
イギリス	62.9	61.9	69.7 ab	57.2 ab	80.7 a	33.1 b	61.5 ab	71.4 ab	
フィンランド	22.5	19.2	19.0	20.6	16.4	23.3	30.0	37.5	
ドイツ	49.8	24.1	46.7 b	16.5 b	16.2 b	57.5 b	195.0 a	35.0 b	**
フランス	43.7	24.8	34.8	37.9	32.5	17.0	67.5	120.0	

表注 1 χ^2 乗検定（性別）、分散分析（年齢層別）の結果： * p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

表注 2 数値右の a. b. c は同記号間では Tukey 法により p<0.05 の有意差がないことを示す。

1.3 インターネットサービス利用

(1) 国別のインターネットサービス利用

本調査では 10 種類のインターネットサービスについて、利用の有無をたずねた。表 1.5 に調査対象国別の利用率を示す。

日本のインターネットサービス利用率の順位をみると、ネットショッピング(3位)・ネットニュース(3位)・ブログの読み書き(3位)では高いほうだが、オンラインバンキング(9位)、SNSの読み書き(8位)、オンラインゲーム(8位)、スカイプ(9位)は相対的に低い水準である。

表 1.5 インターネットサービス利用率

(単位：%)

	全体	日本	アメリカ	チリ	中国	韓国	シンガポール	イギリス	フィンランド	ドイツ	フランス	
n	2624	257	328	172	282	250	263	260	280	259	273	
ネットショッピング	57.7	68.1 ab	72.9 a	14.5 d	59.6 b	68.8 ab	36.5 c	62.3 ab	57.9 b	61.8 ab	56.8 b	***
ネットニュース	75.2	84.4 ab	71.6 cd	40.7 e	81.6 abc	86.8 a	75.7 abc	78.5 abc	86.8 a	73.7 bc	61.5 d	***
オンラインバンキング	55.3	31.1 f	69.8 bc	18.6 f	47.9 de	50.0 de	45.2 e	76.2 ab	88.9 a	59.1 cd	48.0 de	***
動画投稿サイト視聴	60.9	63.0 ab	71.6 ab	34.3 e	75.5 a	63.6 ab	75.3 a	58.8 bc	65.0 ab	48.6 cd	40.3 de	***
ブログの読み書き	39.0	47.9 bc	54.0 ab	30.2 de	40.4 cd	62.4 a	31.9 de	41.9 bcd	35.4 cde	16.2 f	24.9 ef	***
電子掲示板の読み書き	36.0	34.6 bcd	43.0 b	19.2 e	37.2 bc	67.6 a	29.3 cde	38.8 bc	27.1 cde	34.7 bcd	23.1 de	***
SNSの読み書き	51.0	30.4 c	63.1 ab	37.8 c	66.7 a	66.8 a	64.6 ab	63.1 ab	53.2 b	28.2 cd	27.8 c	***
ツイッター	18.2	10.9 cd	30.2 b	32.6 b	31.9 b	11.2 cd	14.4 c	43.5 a	3.9 d	3.1 d	2.2 d	***
オンラインゲーム	35.2	19.5 de	48.2 b	31.4 cd	63.5 a	35.6 bc	45.2 b	44.2 b	16.4 e	24.3 cde	18.7 ef	***
スカイプ (Skype)	24.8	10.5 cd	47.6 a	20.3 bc	23.8 b	8.0 d	21.7 bc	48.5 a	19.6 bc	26.3 b	15.0 bcd	***

表注 1 分散分析の結果： *** p<0.001

表注 2 数値下の a, b, c, d, e, f は同記号間では Tukey 法により p<0.05 の有意差がないことを示す。

インターネットサービス別に利用率が1位の国は、ネットショッピング（アメリカ）、ネットニュース（韓国・フィンランド）、オンラインバンキング（フィンランド）、動画投稿サイト視聴（中国）、ブログの読み書き（韓国）、電子掲示板の読み書き（韓国）、SNSの読み書き（韓国）、ツイッター（イギリス）、オンラインゲーム（中国）、スカイプ（イギリス）であった。

(2) 性別・年齢層別のインターネットサービス利用

インターネットサービス利用率を性別・年齢層別に比較したものが表 1.6、表 1.7 である。日本では動画投稿サイトを視聴する率は男性が高く（男性：69.2%、女性：56.5%）、オンラインゲーム利用率は女性が高い（男性：15.0%、女性：24.2%）。

他の国で性別による利用率の差が1%水準で有意なサービスを見ると、イギリスの動画投稿サイト・SNS・オンラインゲームは女性の利用率が高くなっている。フィンランドのオンラインゲーム・スカイプ、ドイツのオンラインバンキングは男性の利用率が高い。

インターネットサービス利用率を年齢層別に比較すると、日本ではインターネットニュースや、ネットショッピング・オンラインバンキングのように経済的地位が影響するサービスの利用率は10代で低い。一方で動画投稿サイト・オンラインゲームといった娯楽的なサービスは10代の利用率が最も高い。50代以上ではブログ・電子掲示板・SNS・ツイッターなど、インターネット上で個人同士が情報発信・コミュニケーションを行うサービス（いわゆる「ソーシャルメディア」）の利用率が低くなっている。

表 1.6 インターネットサービス利用率（男女別・年齢層別）（1）

（単位：％）

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代
日本								
1.インターネットショッピング	69.2	66.9	46.4 b	69.0 ab	76.8 ab	79.6 a	60.5 ab	55.6 ab *
2.インターネットニュース	84.2	84.7	64.3 b	89.7 a	91.1 a	87.0 ab	81.4 ab	77.8 ab *
3.オンラインバンキング	33.1	29.0	0.0 b	41.4 a	41.1 a	33.3 a	30.2 ab	11.1 ab ***
4.動画投稿サイト視聴	69.2	56.5 *	85.7 a	82.8 a	60.7 ab	59.3 ab	41.9 b	33.3 b ***
5.ブログの読み書き	45.1	50.8	39.3 ab	63.8 a	50.0 ab	46.3 ab	30.2 b	50.0 ab *
6.電子掲示板の読み書き	36.8	32.3	35.7	44.8	46.4	27.8	18.6	22.2 *
7.SNSの読み書き	33.8	26.6	35.7 ab	56.9 a	33.9 ab	13.0 b	11.6 b	22.2 b ***
8.ツイッター	13.5	8.1	10.7 ab	22.4 a	12.5 ab	5.6 ab	4.7 ab	0.0 b *
9.オンラインゲーム	15.0	24.2 *	35.7 a	17.2 ab	25.0 ab	18.5 ab	14.0 ab	0.0 b *
10.スカイプ	12.8	8.1	10.7	17.2	10.7	5.6	9.3	5.6
11.いずれも回答しなかった人	2.3	5.6	3.6 b	1.7 b	1.8 b	1.9 b	7.0 ab	16.7 a
アメリカ								
1.インターネットショッピング	69.1	76.7	56.7 b	83.1 a	83.3 a	76.7 ab	75.0 ab	54.2 b **
2.インターネットニュース	75.2	68.1	63.3 ab	72.9 ab	76.7 ab	80.0 a	80.0 a	52.5 b **
3.オンラインバンキング	68.5	71.2	16.7 c	71.2 ab	88.3 a	83.3 a	80.0 a	52.5 b ***
4.動画投稿サイト視聴	70.9	72.4	83.3	79.7	75.0	58.3	76.7	62.7 *
5.ブログの読み書き	52.7	55.2	70.0 a	54.2 ab	56.7 ab	53.3 ab	58.3 ab	39.0 b
6.電子掲示板の読み書き	44.2	41.7	66.7 a	45.8 ab	46.7 ab	38.3 b	38.3 b	33.9 b
7.SNSの読み書き	63.0	63.2	76.7 a	71.2 a	61.7 ab	66.7 ab	66.7 ab	42.4 b **
8.ツイッター	32.7	27.6	20.0	45.8	26.7	30.0	28.3	25.4
9.オンラインゲーム	49.1	47.2	80.0 a	67.8 ab	55.0 abc	45.0 bcd	26.7 d	30.5 cd ***
10.スカイプ	53.9	41.1 *	46.7	61.0	51.7	43.3	36.7	45.8
11.いずれも回答しなかった人	3.0	1.8	0.0 b	0.0 b	0.0 b	0.0 b	0.0 b	13.6 a ***
チリ								
1.インターネットショッピング	15.9	13.3	0.0	18.3	28.2	11.5	0.0	0.0 *
2.インターネットニュース	43.9	37.8	0.0 c	40.0 bc	56.4 ab	42.3 bc	66.7 ab	100.0 a ***
3.オンラインバンキング	14.6	22.2	0.0	25.0	20.5	34.6	0.0	0.0 **
4.動画投稿サイト視聴	28.0	40.0	36.7	38.3	41.0	34.6	0.0	0.0
5.ブログの読み書き	24.4	35.6	16.7	30.0	30.8	46.2	33.3	20.0
6.電子掲示板の読み書き	19.5	18.9	0.0	33.3	20.5	11.5	8.3	20.0 **
7.SNSの読み書き	34.1	41.1	46.7 a	43.3 ab	64.1 a	0.0 b	0.0 b	0.0 b ***
8.ツイッター	32.9	32.2	33.3 ab	53.3 a	35.9 ab	0.0 b	0.0 b	0.0 b ***
9.オンラインゲーム	36.6	26.7	56.7 a	61.7 a	0.0 b	0.0 b	0.0 b	0.0 b ***
10.スカイプ	18.3	22.2	13.3	30.0	33.3	0.0	0.0	0.0 **
11.いずれも回答しなかった人	8.5	4.4	10.0	3.3	5.1	7.7	16.7	0.0
中国								
1.インターネットショッピング	55.7	63.9	41.4 c	78.0 ab	82.8 a	50.9 bc	50.0 bc	32.4 c ***
2.インターネットニュース	83.9	78.9	65.5 b	78.0 ab	82.8 ab	89.1 ab	79.5 ab	89.2 a ***
3.オンラインバンキング	48.3	47.4	31.0 b	62.7 a	63.8 a	49.1 ab	31.8 b	29.7 b ***
4.動画投稿サイト視聴	75.2	75.9	79.3	84.7	81.0	70.9	72.7	59.5
5.ブログの読み書き	36.9	44.4	48.3	54.2	51.7	27.3	27.3	29.7 **
6.電子掲示板の読み書き	36.2	38.3	37.9	52.5	43.1	30.9	25.0	27.0 *
7.SNSの読み書き	63.8	69.9	86.2 a	93.2 a	69.0 ab	58.2 ab	50.0 ab	37.8 b ***
8.ツイッター	29.5	34.6	41.4 ab	45.8 a	31.0 ab	34.5 ab	18.2 ab	16.2 b *
9.オンラインゲーム	69.8	56.4 *	72.4 a	67.8 a	74.1 a	56.4 ab	68.2 a	37.8 b **
10.スカイプ	24.8	22.6	20.7 ab	42.4 a	25.9 ab	16.4 b	15.9 b	13.5 b **
11.いずれも回答しなかった人	1.3	3.0	3.4	0.0	0.0	1.8	2.3	8.1
韓国								
1.インターネットショッピング	65.6	72.1	64.3 ab	82.8 a	81.1 a	69.4 ab	48.7 b	43.5 b ***
2.インターネットニュース	87.5	86.1	60.7 b	89.7 a	92.5 a	83.7 a	89.7 a	100.0 a ***
3.オンラインバンキング	49.2	50.8	21.4 b	51.7 ab	66.0 a	49.0 ab	56.4 a	34.8 ab **
4.動画投稿サイト視聴	66.4	60.7	67.9	70.7	62.3	61.2	59.0	56.5
5.ブログの読み書き	61.7	63.1	71.4	69.0	58.5	57.1	56.4	65.2
6.電子掲示板の読み書き	61.7	73.8 *	78.6	72.4	64.2	67.3	53.8	73.9
7.SNSの読み書き	65.6	68.0 *	82.1 a	77.6 a	73.6 a	65.3 a	53.8 ab	30.4 b ***
8.ツイッター	15.6	6.6 *	3.6	17.2	13.2	10.2	10.3	4.3
9.オンラインゲーム	42.2	28.7	67.9 a	48.3 ab	17.0 c	36.7 bc	25.6 bc	21.7 bc ***
10.スカイプ	8.6	7.4	0.0	10.3	13.2	6.1	7.7	4.3
11.いずれも回答しなかった人	3.1	1.6	3.6	1.7	1.9	4.1	2.6	0.0

表注 1 χ^2 乗検定（性別）、分散分析（年齢層別）の結果：* p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

表注 2 数値右の a, b, c, d, e, f は同記号間では Tukey 法により p<0.05 の有意差がないことを示す。

表 1.7 インターネットサービス利用率（男女別・年齢層別）（2）

（単位：％）

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代
シンガポール								
1.インターネットショッピング	35.5	37.6	20.0	45.0	41.8	39.0	34.9	26.5
2.インターネットニュース	79.7	71.2	63.3	83.3	80.0	73.2	67.4	79.4
3.オンラインバンキング	50.7	39.2 *	6.7 b	48.3 a	56.4 a	53.7 a	48.8 a	41.2 a ***
4.動画投稿サイト視聴	75.4	75.2	80.0 abc	96.7 a	81.8 ab	58.5 bc	65.1 bc	55.9 c ***
5.ブログの読み書き	31.2	32.8	40.0	40.0	32.7	29.3	27.9	17.6
6.電子掲示板の読み書き	29.7	28.8	30.0	30.0	36.4	24.4	30.2	20.6
7.SNSの読み書き	60.1	69.6	76.7 ab	93.3 a	69.1 abc	51.2 bcd	46.5 cd	35.3 d ***
8.ツイッター	16.7	12.0	13.3	25.0	12.7	9.8	11.6	8.8
9.オンラインゲーム	41.3	49.6	70.0 a	71.7 a	40.0 b	29.3 b	27.9 b	26.5 b ***
10.スカイプ	26.1	16.8 *	3.3 b	20.0 ab	27.3 ab	29.3 a	14.0 ab	32.4 a *
11.いずれも回答しなかった人	3.6	3.2	0.0	0.0	1.8	7.3	7.0	5.9
イギリス								
1.インターネットショッピング	60.3	64.5	46.4	69.8	70.0	63.3	59.3	60.9
2.インターネットニュース	74.3	83.1	50.0 b	76.7 a	77.5 a	89.8 a	79.6 a	84.8 a **
3.オンラインバンキング	79.4	72.6	46.4 b	72.1 ab	85.0 a	77.6 a	87.0 a	76.1 a **
4.動画投稿サイト視聴	51.5	66.9 **	92.9 a	79.1 ab	72.5 ab	57.1 bc	37.0 c	34.8 c ***
5.ブログの読み書き	37.5	46.8	42.9	51.2	45.0	34.7	38.9	41.3
6.電子掲示板の読み書き	36.8	41.1	42.9	51.2	42.5	26.5	40.7	32.6
7.SNSの読み書き	54.4	72.6 **	92.9 a	72.1 ab	67.5 ab	51.0 b	53.7 b	56.5 b **
8.ツイッター	39.0	48.4	75.0 a	55.8 ab	50.0 abc	20.4 c	38.9 bc	37.0 bc ***
9.オンラインゲーム	36.0	53.2 **	60.7 a	55.8 ab	57.5 ab	28.6 b	37.0 ab	37.0 ab **
10.スカイプ	45.6	51.6	53.6 ab	65.1 a	57.5 ab	30.6 b	50.0 ab	39.1 ab *
11.いずれも回答しなかった人	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0
フィンランド								
1.インターネットショッピング	64.1	51.4 *	52.0	62.5	63.2	64.7	54.7	42.1
2.インターネットニュース	86.6	87.0	88.0 ab	96.4 a	89.5 ab	92.2 a	79.2 ab	71.1 b **
3.オンラインバンキング	85.2	92.8 *	56.0 b	96.4 a	98.2 a	90.2 a	88.7 a	84.2 a ***
4.動画投稿サイト視聴	67.6	62.3	92.0 a	76.8 a	78.9 a	76.5 a	41.5 b	26.3 b ***
5.ブログの読み書き	33.8	37.0	52.0 a	46.4 ab	45.6 ab	25.5 ab	22.6 b	23.7 ab **
6.電子掲示板の読み書き	31.7	22.5	20.0	37.5	33.3	31.4	11.3	23.7 *
7.SNSの読み書き	49.3	57.2	96.0 a	85.7 ab	66.7 b	35.3 c	22.6 c	23.7 c ***
8.ツイッター	4.9	2.9	4.0	5.4	1.8	5.9	5.7	0.0
9.オンラインゲーム	22.5	10.1 **	32.0 a	25.0 ab	14.0 ab	15.7 ab	7.5 b	10.5 ab *
10.スカイプ	26.1	13.0 **	32.0	19.6	26.3	21.6	7.5	15.8
11.いずれも回答しなかった人	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	5.7	0.0
ドイツ								
1.インターネットショッピング	64.1	59.4	41.7 b	57.1 ab	80.0 a	63.8 ab	64.4 ab	62.2 ab *
2.インターネットニュース	74.8	72.7	58.3	77.6	86.7	70.2	68.9	73.0
3.オンラインバンキング	67.2	50.8 **	29.2 b	63.3 a	66.7 a	72.3 a	51.1 ab	51.4 ab **
4.動画投稿サイト視聴	51.1	46.1	54.2 ab	63.3 ab	68.9 a	40.4 ab	33.3 b	32.4 b **
5.ブログの読み書き	21.4	10.9 *	25.0	22.4	13.3	19.1	15.6	2.7
6.電子掲示板の読み書き	40.5	28.9 *	45.8	36.7	40.0	34.0	33.3	27.0
7.SNSの読み書き	29.0	27.3	45.8 a	42.9 ab	42.2 abc	14.9 cd	17.8 bcd	8.1 d ***
8.ツイッター	3.1	3.1	12.5 a	4.1 ab	0.0 b	6.4 ab	0.0 b	0.0 b *
9.オンラインゲーム	25.2	23.4	37.5	26.5	26.7	21.3	17.8	18.9
10.スカイプ	23.7	28.9	20.8	22.4	37.8	25.5	24.4	24.3
11.いずれも回答しなかった人	2.3	2.3	0.0	2.0	2.2	2.1	4.4	2.7
フランス								
1.インターネットショッピング	55.3	58.3	41.4	70.2	61.5	62.0	45.0	48.9 *
2.インターネットニュース	61.7	61.4	37.9 b	70.2 a	53.8 ab	70.0 a	60.0 ab	66.7 ab *
3.オンラインバンキング	45.4	50.8	31.0 b	66.7 a	55.8 ab	54.0 ab	37.5 ab	28.9 b ***
4.動画投稿サイト視聴	45.4	34.8 *	79.3 a	54.4 ab	36.5 bc	38.0 bc	25.0 c	17.8 c ***
5.ブログの読み書き	24.1	25.8	51.7 a	36.8 ab	25.0 bc	22.0 bc	12.5 bc	6.7 c ***
6.電子掲示板の読み書き	26.2	19.7	62.1 a	40.4 ab	17.3 bc	10.0 c	12.5 c	6.7 c ***
7.SNSの読み書き	25.5	30.3	75.9 a	50.9 b	21.2 c	16.0 c	7.5 c	6.7 c ***
8.ツイッター	3.5	0.8	3.4	0.0	3.8	4.0	0.0	2.2
9.オンラインゲーム	22.7	14.4	41.4 a	19.3 ab	26.9 ab	10.0 b	12.5 b	8.9 b **
10.スカイプ	17.7	12.1	37.9	21.1	11.5	10.0	10.0	6.7 **
11.いずれも回答しなかった人	3.5	9.1 *	0.0	3.5	3.8	6.0	12.5	11.1

表注 1 χ^2 乗検定（性別）、分散分析（年齢層別）の結果：* p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

表注 2 数値右の a, b, c, d, e, f は同記号間では Tukey 法により p<0.05 の有意差がないことを示す。

他の国でも上記の傾向はおおむね共通して認められ、人々の経済的地位（銀行口座・クレジットカードの有無）や生活環境（遊びに時間を費やせる程度）、インターネット上のコミュニケーションに対する意識・慣習が、インターネットサービスの採用の有無に関連していると考えられる。

[参照文献]

goo リサーチ（2010）「メディア利用状況に関する調査」
<http://research.goo.ne.jp/database/data/001210/>（2010年08月26日）

2. ネット不安以外の不安事象

(1) 全般的傾向

原子力発電、地震、水害、食の安全、新型インフルエンザ、がん、犯罪、交通事故、地球温暖化、インターネット上でのプライバシー情報の漏洩、10項目について不安を感じているものについて回答を求めたところ、日本がもっとも回答数が多く、ありとあらゆるものに不安を感じていることがわかった。

イギリスも似た傾向をしめしていた。食の安全、新型インフルエンザという感染症については共通して回答率が高く、BSE や食品安全に関するリスクが社会問題化しやすい国民性であるという過去、社会問題となったことを裏付ける結果となった。

表 2.1 不安を感じる対象（不安度の高い順）

（単位：％）

不安を感じるもの（％）	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
犯罪	日本 83.3	韓国 63.6	フィンランド 63.3	イギリス 59.7	中国 59.1	ドイツ 56.7	シンガポール 55.8	アメリカ 52.4	チリ 49.4	フランス 44.2
地震	日本 82.4	イギリス 70.6	中国 63.6	アメリカ 51.8	シンガポール 49.4	韓国 45.2	フランス 41.5	フィンランド 28.5	チリ 27.0	ドイツ 23.3
インターネット上での プライバシー情報漏えい	日本 78.2	イギリス 73.0	アメリカ 71.5	韓国 67.3	中国 60.9	シンガポール 60.6	ドイツ 57.9	フィンランド 41.8	フランス 40.6	チリ 10.0
交通事故	日本 73.0	中国 60.9	韓国 57.3	イギリス 56.1	フィンランド 53.6	フランス 52.1	アメリカ 50.3	シンガポール 47.3	ドイツ 42.1	チリ 5.8
食の安全	日本 70.6	イギリス 65.2	韓国 50.3	中国 49.1	シンガポール 48.2	ドイツ 47.9	アメリカ 45.8	チリ 32.4	フランス 30.0	フィンランド 28.2
がん	日本 71.8	中国 60.3	イギリス 59.1	韓国 58.5	フィンランド 58.5	ドイツ 56.7	シンガポール 55.8	フランス 50.0	アメリカ 48.8	チリ 36.7
地球温暖化	イギリス 72.1	日本 66.7	アメリカ 59.7	韓国 54.5	ドイツ 53.9	シンガポール 52.7	中国 52.4	フィンランド 47.0	フランス 38.2	チリ 7.3
新型インフルエンザ	イギリス 73.3	中国 59.4	アメリカ 51.5	日本 49.4	シンガポール 46.1	韓国 42.1	チリ 21.8	フランス 20.3	フィンランド 17.9	ドイツ 10.6
原子力発電	イギリス 60.9	アメリカ 56.1	ドイツ 43.9	日本 41.5	フランス 38.8	シンガポール 37.0	中国 33.6	フィンランド 26.4	韓国 21.8	チリ 3.9
水害	イギリス 62.1	中国 52.7	アメリカ 41.8	日本 40.6	シンガポール 38.8	フランス 38.8	韓国 32.7	フィンランド 22.4	ドイツ 18.5	チリ 18.2
（全平均）	日本 65.8	イギリス 65.2	中国 55.2	アメリカ 53.0	韓国 49.3	シンガポール 49.2	ドイツ 41.2	フランス 39.5	フィンランド 38.8	チリ 21.3

フィンランドは原子力発電、地震、水害、食の安全など災害や社会全体のリスクを不安と答える人は少なく、がん、犯罪、交通事故などどちらかといえば個人のリスクを不安だと答える人が多い。フランス・ドイツも、全般的に不安と回答する人は少なかった(表 2.1)。これらの項目の中でもインターネット上でのプライバシー情報の漏洩については、いずれの国でも不安と答える人が多い項目であるが、中でも日本は高い。国別でみると、チリがいずれの項目に対しても不安と答える人が少ない。不安を感じることがあまりないという国民性と判断しうる。

(2) 性別・年齢層別の傾向

男女別にみると、どの国においても、様々な不安対象に対して、女性が不安をもつ傾向があることがわかる。日本、イギリス、韓国など不安度が高い傾向のある国ほど、女性が不安をもつ傾向が強く、統計的有意差も多くの項目で確認された。

年齢別にみると、様々な不安対象に対して、イギリスでは年齢層が低いほど不安度が高い傾向があり、韓国では年齢層が高いほど不安度が高い傾向がある。また、他の国を含めても一般的な傾向はみられない。なお、イギリスでは 40 代が特異な傾向を示している。

また世代差があまりみられないという国もある。アメリカ、チリ、中国、フランスなどである(表 2.2、表 2.3)。

表 2.2 不安を感じる対象（男女別・年齢層別）(1) （単位：％）

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	
日本									
1. 原子力発電	33.9	49.1 **	23.3 a	33.3 ab	45.0 ab	36.7 ab	56.7 b	45.0 ab	*
2. 地震	77.0	87.9 **	86.7	71.7	83.3	81.7	86.7	86.7	n.s.
3. 水害	32.7	48.5 **	56.7 b	26.7 a	43.3 ab	38.3 ab	36.7 ab	50.0 ab	n.s.
4. 食の安全	64.8	76.4 *	70.0	71.7	75.0	71.7	65.0	70.0	n.s.
5. 新型インフルエンザ	47.3	51.5	56.7	46.7	53.3	51.7	48.3	43.3	n.s.
6. がん	69.7	73.9	70.0	65.0	71.7	81.7	65.0	76.7	n.s.
7. 犯罪	78.8	87.9 *	80.0 ab	81.7 ab	85.0 ab	96.7 b	75.0 a	80.0 ab	*
8. 交通事故	70.9	75.2	70.0	68.3	75.0	83.3	68.3	71.7	n.s.
9. 地球温暖化	58.2	75.2 **	73.3	56.7	61.7	68.3	66.7	76.7	n.s.
10. ネットでのプライバシー情報漏洩 いずれも回答しなかった人	75.2 3.0	81.2 1.8	83.3 b 3.3	83.3 b 5.0	76.7 ab 1.7	90.0 b 0.0	80.0 ab 5.0	58.3 a 0.0	*** n.s.
アメリカ									
1. 原子力発電	52.7	59.4	66.7	55.0	61.7	51.7	51.7	55.0	n.s.
2. 地震	52.1	51.5	56.7	46.7	50.0	51.7	50.0	58.3	n.s.
3. 水害	43.6	40.0	56.7	36.7	53.3	36.7	36.7	38.3	n.s.
4. 食の安全	42.4	49.1	36.7	40.0	51.7	43.3	50.0	48.3	n.s.
5. 新型インフルエンザ	48.5	54.5	60.0	53.3	55.0	50.0	38.3	56.7	n.s.
6. がん	52.7	44.8	50.0	41.7	51.7	55.0	43.3	51.7	n.s.
7. 犯罪	49.7	55.2	56.7	55.0	58.3	46.7	40.0	60.0	n.s.
8. 交通事故	49.7	50.9	46.7	41.7	63.3	48.3	38.3	61.7	*
9. 地球温暖化	55.8	63.6	46.7	66.7	66.7	61.7	61.7	48.3	n.s.
10. ネットでのプライバシー情報漏洩 いずれも回答しなかった人	70.3 0.0	72.7 2.4 *	60.0 3.3	80.0 1.7	70.0 0.0	63.3 0.0	76.7 0.0	73.3 3.3	n.s. n.s.
チリ									
1. 原子力発電	1.8	6.1 *	6.7	1.7	8.3	3.3	1.7	3.3	n.s.
2. 地震	26.7	27.3	33.3	21.7	28.3	23.3	33.3	25.0	n.s.
3. 水害	15.8	20.6	20.0	21.7	18.3	10.0	15.0	25.0	n.s.
4. 食の安全	28.5	36.4	30.0	33.3	25.0	36.7	35.0	33.3	n.s.
5. 新型インフルエンザ	21.2	22.4	23.3	18.3	23.3	23.3	28.3	15.0	n.s.
6. がん	37.0	36.4	50.0	35.0	43.3	31.7	38.3	28.3	n.s.
7. 犯罪	47.9	50.9	36.7	56.7	45.0	58.3	53.3	40.0	n.s.
8. 交通事故	6.7	4.8	6.7	6.7	8.3	3.3	3.3	6.7	n.s.
9. 地球温暖化	8.5	6.1	0.0	8.3	11.7	11.7	5.0	3.3	n.s.
10. ネットでのプライバシー情報漏洩 いずれも回答しなかった人	7.3 2.4	12.7 1.8	10.0 ab 3.3	20.0 b 1.7	20.0 b 1.7	10.0 ab 1.7	0.0 a 1.7	0.0 a 3.3	*** n.s.
中国									
1. 原子力発電	30.3	37.0	33.3	36.7	46.7	31.7	31.7	21.7	n.s.
2. 地震	56.4	70.9 **	73.3	63.3	65.0	63.3	60.0	61.7	n.s.
3. 水害	50.3	55.2	63.3	53.3	53.3	56.7	43.3	51.7	n.s.
4. 食の安全	45.5	52.7	46.7	50.0	45.0	56.7	48.3	46.7	n.s.
5. 新型インフルエンザ	57.0	61.8	66.7	61.7	58.3	63.3	56.7	53.3	n.s.
6. がん	56.4	64.2	63.3	65.0	61.7	68.3	50.0	55.0	n.s.
7. 犯罪	57.0	61.2	66.7	58.3	56.7	66.7	55.0	55.0	n.s.
8. 交通事故	57.6	64.2	66.7	60.0	65.0	61.7	51.7	63.3	n.s.
9. 地球温暖化	53.3	51.5	56.7	58.3	45.0	65.0	48.3	43.3	n.s.
10. ネットでのプライバシー情報漏洩 いずれも回答しなかった人	59.4 9.7	62.4 2.4 **	63.3 0.0	65.0 6.7	55.0 5.0	75.0 5.0	50.0 5.0	58.3 11.7	n.s. n.s.
韓国									
1. 原子力発電	15.2	28.5 **	3.3 a	15.0 ab	16.7 ab	26.7 b	31.7 b	28.3 b	*
2. 地震	37.0	53.3 **	26.7 a	28.3 a	36.7 ab	53.3 ab	58.3 b	58.3 b	***
3. 水害	26.1	39.4 **	10.0 a	15.0 ab	23.3 abc	38.3 bcd	50.0 d	48.3 cd	***
4. 食の安全	41.8	58.8 **	33.3 a	35.0 a	56.7 ab	46.7 ab	66.7 b	55.0 ab	**
5. 新型インフルエンザ	30.3	53.9 ***	23.3 a	38.3 ab	36.7 ab	43.3 ab	48.3 ab	53.3 b	n.s.
6. がん	56.4	60.6	36.7 a	45.0 ab	50.0 abc	68.3 bc	73.3 c	66.7 bc	***
7. 犯罪	53.9	73.3 ***	43.3 a	58.3 ab	60.0 ab	73.3 b	66.7 ab	70.0 ab	n.s.
8. 交通事故	52.1	62.4	40.0 a	41.7 a	53.3 ab	58.3 ab	70.0 b	71.7 b	**
9. 地球温暖化	46.1	63.0 **	33.3 a	40.0 ab	46.7 abc	65.0 bc	70.0 c	61.7 bc	***
10. ネットでのプライバシー情報漏洩 いずれも回答しなかった人	60.6 9.7	73.9 5.5	60.0 23.3 b	66.7 10.0 ab	65.0 5.0 a	76.7 3.3 a	75.0 6.7 a	56.7 5.0 a	n.s. *

表注 1 男女別は t 検定の結果、分散分析の結果：*** p<.001, ** p<.01, * p<.05

表注 2 数値右側の a, b, c は同記号間では、Tukey 法により p<0.05 の有意差がないことを示す。

表 2.3 不安を感じる対象（男女別・年齢層別）（2）

（単位：％）

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	
シンガポール									
1. 原子力発電	33.9	40.0	33.3	30.0	45.0	25.0	41.7	45.0	n.s.
2. 地震	47.9	50.9	46.7	46.7	56.7	40.0	53.3	51.7	n.s.
3. 水害	36.4	41.2	16.7 a	36.7 abc	45.0 bc	21.7 ab	46.7 bc	55.0 c	***
4. 食の安全	48.5	47.9	36.7	43.3	53.3	46.7	50.0	53.3	n.s.
5. 新型インフルエンザ	43.6	48.5	53.3	45.0	43.3	40.0	46.7	51.7	n.s.
6. がん	55.2	56.4	40.0 a	53.3 ab	61.7 ab	43.3 ab	58.3 ab	70.0 b	*
7. 犯罪	57.0	54.5	46.7	58.3	51.7	41.7	66.7	65.0	*
8. 交通事故	46.1	48.5	33.3	43.3	50.0	35.0	58.3	56.7	*
9. 地球温暖化	49.1	56.4	40.0 a	51.7 ab	68.3 b	36.7 a	56.7 ab	56.7 ab	*
10. ネットでのプライバシー情報漏れ	58.8	62.4	56.7	60.0	63.3	58.3	63.3	60.0	n.s.
いずれも回答しなかった人	17.6	17.6	20.0	18.3	13.3	26.7	10.0	18.3	n.s.
イギリス									
1. 原子力発電	50.9	70.9 ***	66.7 ab	63.3 ab	65.0 ab	81.7 b	45.0 a	46.7 a	***
2. 地震	60.6	80.6 ***	76.7 bc	78.3 bc	76.7 bc	90.0 c	55.0 ab	50.0 a	***
3. 水害	49.1	75.2 ***	66.7	68.3	66.7	70.0	53.3	50.0	n.s.
4. 食の安全	58.2	72.1 **	60.0	58.3	63.3	73.3	58.3	75.0	n.s.
5. 新型インフルエンザ	67.3	79.4 *	76.7 ab	86.7 b	70.0 ab	90.0 b	60.0 a	58.3 a	***
6. がん	57.0	61.2	66.7	63.3	63.3	41.7	63.3	60.0	n.s.
7. 犯罪	55.2	64.2	60.0 ab	75.0 b	70.0 b	41.7 a	56.7 ab	55.0 ab	**
8. 交通事故	49.1	63.0 *	66.7 ab	61.7 ab	71.7 b	40.0 a	50.0 ab	51.7 ab	**
9. 地球温暖化	63.6	80.6 ***	83.3	78.3	65.0	80.0	71.7	60.0	n.s.
10. ネットでのプライバシー情報漏れ	69.7	76.4	66.7	66.7	73.3	78.3	70.0	80.0	n.s.
いずれも回答しなかった人	1.2	1.2	0.0	1.7	1.7	0.0	3.3	0.0	n.s.
フィンランド									
1. 原子力発電	17.0	35.8 ***	20.0	26.7	36.7	16.7	25.0	30.0	n.s.
2. 地震	20.0	37.0 ***	30.0	30.0	30.0	21.7	26.7	33.3	n.s.
3. 水害	17.6	27.3 *	36.7	20.0	16.7	23.3	18.3	26.7	n.s.
4. 食の安全	23.6	32.7	33.3	21.7	26.7	26.7	31.7	31.7	n.s.
5. 新型インフルエンザ	15.8	20.0	16.7 ab	15.0 ab	30.0 b	15.0 ab	8.3 a	21.7 ab	*
6. がん	58.2	58.8	50.0	58.3	61.7	70.0	55.0	51.7	n.s.
7. 犯罪	55.8	70.9 **	66.7	60.0	63.3	63.3	66.7	61.7	n.s.
8. 交通事故	44.8	62.4 **	56.7	55.0	58.3	53.3	50.0	50.0	n.s.
9. 地球温暖化	40.6	53.3 *	43.3	48.3	56.7	48.3	35.0	48.3	n.s.
10. ネットでのプライバシー情報漏れ	36.4	47.3 *	50.0	50.0	43.3	33.3	41.7	36.7	n.s.
いずれも回答しなかった人	13.3	5.5 *	13.3	8.3	8.3	6.7	8.3	13.3	n.s.
ドイツ									
1. 原子力発電	37.0	50.9 *	41.4	49.1	42.1	57.6	37.9	38.9	n.s.
2. 地震	20.6	26.1	37.9	17.5	22.8	25.4	20.7	22.2	n.s.
3. 水害	17.0	20.0	17.2	14.0	19.3	25.4	13.8	22.2	n.s.
4. 食の安全	40.6	55.2 **	44.8	43.9	50.9	54.2	46.6	46.3	n.s.
5. 新型インフルエンザ	7.3	13.9 *	24.1 b	14.0 ab	8.8 ab	8.5 ab	8.6 ab	5.6 a	n.s.
6. がん	46.1	67.3 ***	58.6	61.4	70.2	49.2	48.3	55.6	n.s.
7. 犯罪	49.1	64.2 **	55.2	47.4	56.1	54.2	55.2	74.1	n.s.
8. 交通事故	37.6	46.7	48.3	45.6	35.1	35.6	46.6	51.9	n.s.
9. 地球温暖化	44.8	63.0 ***	55.2	54.4	57.9	59.3	50.0	51.9	n.s.
10. ネットでのプライバシー情報漏れ	57.0	58.8	65.5 ab	75.4 b	59.6 ab	61.0 ab	44.8 a	44.4 a	**
いずれも回答しなかった人	6.7	3.0	6.9	0.0	0.0	5.1	10.3	7.4	n.s.
フランス									
1. 原子力発電	37.6	40.0	30.0	45.0	38.3	41.7	40.0	33.3	n.s.
2. 地震	38.2	44.8	50.0	46.7	33.3	41.7	45.0	36.7	n.s.
3. 水害	33.9	43.6	43.3	50.0	35.0	35.0	43.3	28.3	n.s.
4. 食の安全	30.3	29.7	30.0	26.7	25.0	35.0	38.3	25.0	n.s.
5. 新型インフルエンザ	18.2	22.4	36.7	20.0	16.7	16.7	21.7	18.3	n.s.
6. がん	44.8	55.2	60.0	66.7	46.7	41.7	48.3	41.7	*
7. 犯罪	41.2	47.3	43.3	45.0	41.7	48.3	43.3	43.3	n.s.
8. 交通事故	49.7	54.5	50.0	61.7	43.3	45.0	55.0	56.7	n.s.
9. 地球温暖化	37.6	38.8	40.0	36.7	36.7	45.0	38.3	33.3	n.s.
10. ネットでのプライバシー情報漏れ	38.8	42.4	46.7	45.0	43.3	45.0	36.7	30.0	n.s.
いずれも回答しなかった人	11.5	15.8	6.7	8.3	15.0	16.7	18.3	13.3	n.s.

表注1 男女別は t 検定の結果、分散分析の結果：*** p<.001, ** p<.01, * p<.05

表注2 数値右側の a, b, c は同記号間では、Tukey 法により p<0.05 の有意差がないことを示す。

3. ネット利用時の不安・被害経験・マスコミ上のニュース接触

3.1 ネット利用に伴う個別具体的なトラブルへの不安の分析

3.1.1 不安はアジアで高く南米で低い

(1) 全般的傾向

国別に個別の不安について、不安に思う人の割合（とても不安+やや不安を足したもの）を算出した。さらに平均値を分散分析し、Tukey法で等質なグループ分けを行った。表中の数値下側のa、b、c等はTukey法により、同記号間では有意な差がないことを示す。

その結果、日本、中国、韓国、シンガポールなどのアジア各国では全般的に不安が高かった。とくにフィッシング、カード情報の悪用、ウイルスの被害などについて不安が高い。ただし、日本では電磁波や出会い系サイトへの不安は高くなかった。これに対してチリは、全体的に極めて不安が低い。またドイツ、フィンランドも不安は低めであった。

たとえば、フィッシングでの情報流失についてみると、日本は80%の人が不安を感じ、中国が82.4%、韓国は83.3%と多くの人不安を感じている。数値の下にはいずれもeが

表 3.1 ネット利用に伴う個別具体的なトラブルへの不安

(単位：%)

	日本	アメリカ	チリ	中国	韓国	シンガポール	イギリス	フィンランド	ドイツ	フランス	全体	
7.1 フィッシングで情報流出	80.0 de	76.7 cde	5.2 a	82.4 e	83.3 e	67.0 c	71.5 cd	51.5 b	51.7 b	69.1 c	64.0	***
7.2 未利用のネットサービス料金請求	72.4 de	48.8 b	9.7 a	78.8 ef	83.6 f	72.4 de	67.3 cd	42.2 b	61.5 c	72.4 de	60.9	***
7.3 ネットショッピングでカード情報が悪用	84.5 f	48.8 b	4.2 a	85.8 f	89.4 f	73.9 e	68.5 de	57.1 bc	60.7 cd	73.0 e	64.7	***
7.4 ネットショッピングでの商品の不具合	70.3 de	53.9 c	2.7 a	80.6 e	78.5 e	72.1 de	63.9 cd	36.4 b	32.6 b	64.2 cd	56.0	***
7.5 メール宛先間違いによる情報漏えい	73.9 de	41.8 b	10.6 a	80.0 e	80.0 e	68.5 cd	58.2 c	36.6 b	42.2 b	58.8 c	55.2	***
7.6 迷惑メール	69.7 de	50.3 bc	22.4 a	58.8 cd	75.2 e	47.0 bc	65.5 de	41.0 b	52.7 bc	49.4 bc	53.2	***
7.7 ウイルスの被害にあう	83.6 d	49.1 b	30.9 a	85.5 d	81.5 d	69.7 c	62.1 c	69.0 c	64.4 c	65.8 c	66.2	***
7.8 ネットに接続できなくなる	64.2 de	54.5 cd	27.6 a	71.2 e	70.0 e	61.5 de	60.9 de	34.8 ab	43.9 bc	57.9 d	54.7	***
7.9 出会い系サイトで犯罪被害にあう	44.2 c	39.1 c	7.6 a	77.0 e	74.5 e	63.0 d	48.8 c	25.6 b	22.9 b	48.8 c	45.7	***
7.10 電磁波の悪影響	43.6 cd	40.0 c	1.8 a	75.5 g	62.7 f	57.0 ef	62.4 f	14.6 b	16.4 b	51.5 de	42.7	***
7.11 子供が有害情報を見てしまう	78.8 de	46.7 b	18.8 a	81.2 e	82.4 e	69.4 cd	61.2 c	67.6 c	83.1 e	63.0 c	65.2	***
11.1 IDパスワードが勝手に使われる	85.6 d	82.9 cd	17.4 a	92.2 d	93.2 d	87.8 d	71.9 c	49.6 b	53.3 b	73.3 c	72.8	***
11.2 ネットサービス業者から個人情報が流す	90.3 e	63.1 cd	8.7 a	90.1 e	92.0 e	85.6 e	66.5 cd	37.9 b	55.6 c	67.4 d	67.5	***
11.3 意図せずに有害情報を見てしまう	60.7 c	63.7 cd	12.8 a	78.0 ef	80.0 f	75.7 def	63.8 cd	21.9 ab	26.9 b	66.3 cde	56.7	***

表注. 分散分析の結果: *** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.5

表注. 数値右側のa.b.c.は、Tukey法により、同記号間ではp<.05の有意差がないことを示す。

ついていて、この三カ国間では差がないことがわかる。その一方チリは 5.2%とほとんど不安を感じる人がおらず、数字下の記号も a と他と独立して低くなっている。チリは他の項目でもすべて独立した a の記号がついていて、圧倒的に不安が低いことが分かる。

パスワード悪用・ネット業者からの情報流出についてみても、日本、中国、韓国、シンガポールなどアジア各国において不安が高く、チリでは著しく低かった。

(2) 男女別・年齢別の不安

次に性別、年齢別に不安の思う人の割合を見てみよう。

性別では、全体として女性が不安と覚えることが多いが、その様相は国によって全く異なる。すなわち日本ではほとんどの項目でかなりはっきりと女性の不安が高くなっている。ついで韓国が似たような傾向を持っていて、フィンランドやドイツでも少数の項目でこの傾向がみられるが、その他の国では男女別の違いがほとんどみられない。ここから、男女では女性のほうが怖がりであるという傾向は、日本に顕著なもので、世界的に一般的な傾向とはいえないことがわかる。

一方年齢では、全体にはっきりした傾向は見られないが、一部で、若い人、または中年で多く不安を持つ傾向がみられた。たとえばフィッシングによる情報流出に関して、日本では 10 代では 9 割以上が不安を持つのにに対してそれ以降の年代では 8 割程度であった。あるいは同項目で、イギリスでは 40 代が 9 割、50 代が 8 割が不安なのに対してその前後の年代では 6 割程度しか不安を感じていなかった。同様の傾向は、ネットショッピングによる商品の不具合や、メール誤送信による情報流出に対する不安などにもみられる。

3.1.2 不安を左右する要因

ではこうした個別のネット不安を左右する要因には何があるだろうか。まず考えられるのが、ネット利用率である。ネットを利用しなければネット利用に対する不安も低いので、ネット利用率の低い国では不安も低い、と考えられるからだ。ネット利用率を見ると被調査全体の平均では 77.4%であったが、アメリカでは 99.1%と最も高く、チリでは 50.0%と最も低かった。日本は 73.3%と全体平均に比べやや低い程度であった。上にみたようにチリでは各不安が低く、こればネット利用率の低さが影響していると考えられる。しかしネット利用率がもっとも高いアメリカではとくに不安が高いわけではないので、これが絶対的な影響力を持っているとは思えない。

各国でネット利用者と非利用者とでネット不安を比較してみると、全体とすれば、確かに利用者のほうがやや不安が高い傾向がみられた。しかしチリではネット利用者だけを見ても他国に比べると著しく低い傾向は変わらなかった。また日本ではネット利用者と非利用者の差はほとんどなかった。したがって、ネット利用は不安に影響してはいるものの、決定的な要因とはなっていない、といえる。

表 3.2 ネット利用に伴う個別具体的なトラブルへの不安（男女別・年齢層別）(1)

(単位：%)

	男性	女性		10代	20代	30代	40代	50代	60代	
7.1フィッシングで情報流出										
日本	67.3	92.7	n.s.	93.3	78.3	78.3	80.0	80.0	76.7	***
アメリカ	81.2	72.1	n.s.	56.7 a	83.3 b	86.7 b	75.0 ab	80.0 ab	68.3 ab	*
チリ	6.7	3.6	*	0.0 a	16.7 b	11.7 ab	0.0 ab	0.0 ab	0.0 ab	***
中国	78.8	86.1	n.s.	76.7	86.7	75.0	88.3	86.7	78.3	n.s.
韓国	78.8	87.9	n.s.	76.7	75.0	83.3	88.3	81.7	91.7	n.s.
シンガポール	63.0	70.9	n.s.	43.3 a	63.3 ab	81.7 b	65.0 ab	68.3 ab	68.3 ab	*
イギリス	70.9	72.1	n.s.	66.7 ab	55.0 a	66.7 ab	90.0 b	83.3 b	65.0 a	***
フィンランド	46.0	57.1	n.s.	60.0	42.4	41.7	49.2	57.6	62.7	n.s.
ドイツ	45.7	57.8	n.s.	69.2	49.0	57.1	57.9	40.4	44.6	n.s.
フランス	68.5	69.7	n.s.	56.7	76.7	71.7	61.7	71.7	70.0	n.s.
7.2未利用のネットサービス料金請求										
日本	59.4	85.5	n.s.	73.3	78.3	70.0	73.3	75.0	65.0	n.s.
アメリカ	49.1	48.5	n.s.	30.0 a	53.3 ab	60.0 b	45.0 ab	46.7 ab	48.3 ab	n.s.
チリ	6.7	12.7	n.s.	20.0 b	20.0 b	10.0 ab	8.3 ab	5.0 ab	0.0 a	**
中国	76.4	81.2	n.s.	86.7	85.0	70.0	86.7	75.0	73.3	n.s.
韓国	80.6	86.7	n.s.	90.0	85.0	81.7	80.0	85.0	83.3	n.s.
シンガポール	70.9	73.9	n.s.	70.0	71.7	81.7	73.3	71.7	65.0	n.s.
イギリス	71.5	63.0	n.s.	80.0 bc	75.0 bc	56.7 ab	88.3 c	61.7 ab	48.3 a	***
フィンランド	40.9	43.5	n.s.	60.0 b	43.3 ab	27.1 ab	38.3 ab	45.0 ab	48.2 ab	n.s.
ドイツ	55.7	67.3	n.s.	71.4 b	63.2 ab	69.0 ab	70.0 ab	43.1 a	57.1 ab	*
フランス	68.5	76.4	n.s.	76.7	80.0	70.0	71.7	71.7	66.7	n.s.
7.3ネットショッピングでカード情報が悪用										
日本	77.0	92.1	n.s.	86.7	85.0	85.0	88.3	81.7	81.7	n.s.
アメリカ	43.6	53.9	n.s.	40.0	51.7	50.0	48.3	51.7	46.7	n.s.
チリ	6.1	2.4	*	0.0 a	11.7	6.7	5.0	0.0	0.0	**
中国	83.0	88.5	n.s.	83.3	96.7	81.7	90.0	83.3	78.3	n.s.
韓国	86.1	92.7	n.s.	80.0	88.3	93.3	93.3	88.3	88.3	n.s.
シンガポール	72.7	75.2	n.s.	60.0 a	80.0	85.0	76.7	71.7	63.3	*
イギリス	66.1	70.9	n.s.	73.3 ab	70.0	75.0	85.0	56.7	53.3	**
フィンランド	51.2	63.0	n.s.	66.7	56.7	51.7	52.5	62.7	57.1	n.s.
ドイツ	55.2	66.4	n.s.	77.3 b	66.7	64.2	64.7	42.6	57.1	n.s.
フランス	70.3	75.8	n.s.	70.0 ab	88.3	71.7	73.3	70.0	63.3	n.s.
7.4ネットショッピングでの商品の不具合										
日本	63.0	77.6	n.s.	96.7 a	70.0 b	68.3 b	66.7 b	66.7 b	66.7 b	*
アメリカ	52.7	55.2	n.s.	43.3	60.0	50.0	61.7	53.3	50.0	n.s.
チリ	2.4	3.0	*	0.0	8.3	5.0	1.7	0.0	0.0	*
中国	78.8	82.4	n.s.	80.0	88.3	80.0	80.0	78.3	76.7	n.s.
韓国	75.2	81.8	n.s.	66.7	81.7	78.3	83.3	81.7	73.3	n.s.
シンガポール	70.3	73.9	n.s.	63.3	81.7	85.0	68.3	68.3	61.7	*
イギリス	61.2	66.7	n.s.	43.3 a	68.3 ab	71.7 b	78.3 b	58.3 ab	53.3 ab	**
フィンランド	36.3	36.5	n.s.	30.0	45.0	31.7	39.7	33.3	35.3	n.s.
ドイツ	31.9	33.3	n.s.	47.8	36.7	37.5	34.0	24.5	21.7	n.s.
フランス	64.2	64.2	n.s.	73.3	73.3	63.3	66.7	56.7	56.7	n.s.
7.5メール宛先間違いによる情報漏えい										
日本	64.9	83.0	n.s.	93.3 b	68.3 a	70.0 a	78.3 ab	78.3 ab	65.0 a	n.s.
アメリカ	42.4	41.2	n.s.	36.7	40.0	38.3	45.0	48.3	40.0	n.s.
チリ	9.7	11.5	n.s.	13.3 ab	13.3 ab	20.0 b	13.3 ab	3.3 ab	1.7 a	**
中国	80.0	80.0	n.s.	73.3	86.7	73.3	86.7	80.0	76.7	n.s.
韓国	76.4	83.6	n.s.	73.3	81.7	73.3	75.0	88.3	85.0	n.s.
シンガポール	68.5	68.5	n.s.	60.0	65.0	75.0	75.0	66.7	65.0	n.s.
イギリス	58.2	58.2	n.s.	66.7 ab	56.7 ab	66.7 ab	75.0 b	46.7 a	41.7 a	**
フィンランド	31.7	41.5	n.s.	23.3	38.3	33.3	35.0	40.7	42.4	n.s.
ドイツ	37.8	46.7	n.s.	50.0	41.1	50.0	53.5	26.9	33.9	*
フランス	55.2	62.4	n.s.	60.0	66.7	56.7	56.7	55.0	58.3	n.s.

表注. 分散分析の結果: *** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.5

表注. 数値右側の a. b. c. は、Tukey 法により、同記号間では p<.05 の有意差がないことを示す。

表 3.3 ネット利用に伴う個別具体的なトラブルへの不安（男女別・年齢層別）(2)

(単位：%)

	男性	女性		10代	20代	30代	40代	50代	60代	
7.6迷惑メール										
日本	59.4	80.0	n.s.	73.3	65.0	76.7	71.7	71.7	61.7	n.s.
アメリカ	49.1	51.5	n.s.	23.3 a	40.0 ab	58.3 b	48.3 ab	56.7 b	61.7 b	**
チリ	20.0	24.9	n.s.	53.3 d	36.7 cd	20.0 abc	30.0 bc	8.3 ab	1.7 a	***
中国	55.2	62.4	n.s.	56.7	48.3	56.7	66.7	61.7	61.7	n.s.
韓国	72.7	77.6	n.s.	60.0 a	61.7 ab	80.0 ab	73.3 ab	85.0 b	83.3 ab	**
シンガポール	42.4	51.5	n.s.	43.3	36.7	60.0	41.7	50.0	48.3	n.s.
イギリス	62.4	68.5	n.s.	56.7	71.7	66.7	76.7	55.0	61.7	n.s.
フィンランド	38.9	43.0	n.s.	26.7	35.0	37.3	35.6	51.7	52.5	n.s.
ドイツ	51.9	53.6	n.s.	70.4 b	49.1 ab	55.2 ab	60.0 ab	40.7 a	49.1 ab	n.s.
フランス	49.1	49.7	n.s.	40.0	51.7	48.3	45.0	53.3	53.3	n.s.
7.7ウイルスの被害にあう										
日本	77.6	89.7	n.s.	100.0 c	88.3 bc	88.3 bc	90.0 bc	76.7 ab	66.7 a	***
アメリカ	44.9	53.3	n.s.	53.3	46.7	53.3	38.3	55.0	50.0	n.s.
チリ	27.9	33.9	n.s.	73.3 d	48.3 c	31.7 bc	30.0 abc	16.7 ab	6.7 a	***
中国	85.5	85.5	n.s.	90.0	91.7	90.0	86.7	81.7	75.0	n.s.
韓国	77.0	86.1	n.s.	86.7	75.0	78.3	83.3	85.0	83.3	n.s.
シンガポール	68.5	70.9	n.s.	76.7	61.7	76.7	71.7	68.3	66.7	n.s.
イギリス	57.6	66.7	n.s.	60.0 ab	76.7 b	66.7 ab	70.0 ab	50.0 ab	48.3 a	**
フィンランド	65.2	72.7	n.s.	53.3	66.7	76.7	71.7	70.0	67.8	n.s.
ドイツ	58.4	70.4	n.s.	82.8 b	70.7 ab	63.2 ab	71.7 ab	57.9 ab	49.2 a	*
フランス	61.8	69.7	n.s.	53.3	78.3	70.0	63.3	63.3	60.0	n.s.
7.8ネットに接続できなくなる										
日本	61.8	66.7	n.s.	80.0 b	75.0 b	65.0 b	65.0 b	70.0 b	38.3 a	***
アメリカ	58.2	50.9	n.s.	40.0	60.0	63.3	56.7	61.7	38.3	*
チリ	29.7	25.5	n.s.	50.0 c	55.0 c	36.7 bc	20.0 ab	10.0 a	5.0 a	***
中国	70.3	72.1	n.s.	73.3	71.7	71.7	76.7	66.7	68.3	n.s.
韓国	63.6	76.4	n.s.	66.7	68.3	58.3	76.7	73.3	75.0	n.s.
シンガポール	60.6	62.4	n.s.	73.3	60.0	63.3	61.7	60.0	56.7	n.s.
イギリス	57.0	64.9	n.s.	70.0	58.3	63.3	75.0	55.0	48.3	*
フィンランド	30.9	38.8	n.s.	26.7	36.7	46.7	26.7	30.0	38.3	n.s.
ドイツ	41.4	46.6	n.s.	57.1	43.9	39.3	57.6	42.0	29.1	*
フランス	57.0	58.8	n.s.	63.3	65.0	53.3	58.3	60.0	50.0	n.s.
7.9出会い系サイトで犯罪被害にあう										
日本	36.4	52.1	n.s.	70.0 b	26.7 a	46.7 ab	43.3 ab	48.3 ab	43.3 ab	**
アメリカ	40.0	38.2	n.s.	30.0	41.7	41.7	40.0	36.7	40.0	n.s.
チリ	0.0	15.2	n.s.	23.3 b	30.0 b	0.0 a	0.0 a	0.0 a	0.0 a	***
中国	78.8	75.2	n.s.	70.0	88.3	70.0	80.0	80.0	70.0	n.s.
韓国	69.7	79.4	n.s.	66.7	66.7	66.7	81.7	83.3	78.3	n.s.
シンガポール	59.4	66.7	n.s.	60.0	58.3	73.3	60.0	63.3	61.7	n.s.
イギリス	46.1	51.5	n.s.	46.7	55.0	60.0	55.0	36.7	38.3	*
フィンランド	19.8	31.5	n.s.	30.0	21.7	17.0	30.5	27.1	29.8	n.s.
ドイツ	19.9	26.2	n.s.	40.0 b	25.5 ab	20.4 ab	30.6 ab	10.0 a	19.1 ab	*
フランス	42.4	55.2	n.s.	43.3	56.7	43.3	46.7	56.7	43.3	n.s.
7.10電磁波の悪影響										
日本	33.9	53.3	n.s.	50.0	41.7	45.0	31.7	55.0	41.7	n.s.
アメリカ	43.6	36.4	n.s.	40.0	40.0	41.7	40.0	35.0	43.3	n.s.
チリ	1.8	1.8	*	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	n.s.
中国	72.1	78.8	n.s.	73.3	78.3	66.7	81.7	78.3	73.3	n.s.
韓国	52.7	72.7	n.s.	56.7	60.0	55.0	68.3	70.0	63.3	n.s.
シンガポール	49.7	64.2	n.s.	53.3	48.3	66.7	53.3	58.3	60.0	n.s.
イギリス	58.2	66.7	n.s.	53.3 ab	70.0 b	75.0 b	75.0 b	55.0 ab	41.7 a	***
フィンランド	10.3	18.9	n.s.	6.7	6.7	18.6	15.0	15.0	21.7	n.s.
ドイツ	14.9	17.8	n.s.	17.9	19.3	19.3	20.0	12.1	10.3	n.s.
フランス	48.5	54.6	n.s.	43.3	53.3	50.0	48.3	56.7	53.3	n.s.

表注. 分散分析の結果: *** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.5

表注. 数値右側の a. b. c. は、Tukey 法により、同記号間では p<.05 の有意差がないことを示す。

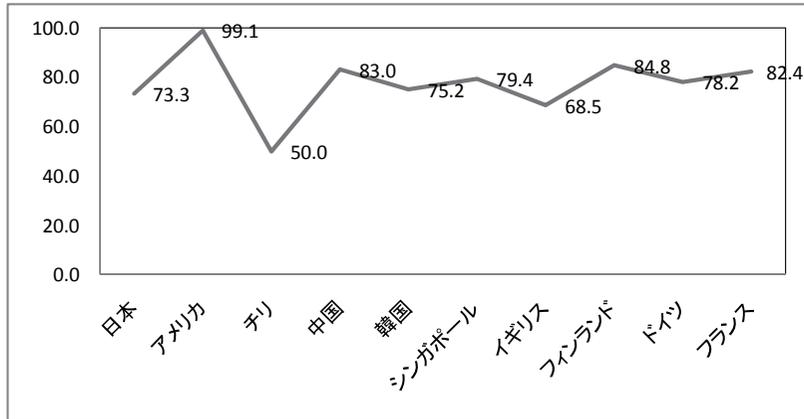
表 3.4 ネット利用に伴う個別具体的なトラブルへの不安（男女別・年齢層別）(3)

(単位：%)

	男性	女性		10代	20代	30代	40代	50代	60代							
7.11子供が有害情報を見してしまう																
日本	70.9	86.7	n.s.	66.7	86.7	81.7	81.7	80.0	70.0	n.s.						
アメリカ	44.9	48.5	n.s.	53.3	35.0	51.7	56.7	53.3	33.3	*						
チリ	19.4	18.2	n.s.	0.0	a	45.0	c	31.7	bc	20.0	ab	5.0	a	1.7	a	***
中国	78.2	84.2	n.s.	66.7	a	85.0	ab	80.0	ab	93.3	b	83.3	ab	71.7	ab	*
韓国	78.2	86.7	n.s.	76.7	80.0	76.7	90.0	83.3	85.0	n.s.						
シンガポール	65.5	73.3	n.s.	53.3	68.3	75.0	75.0	71.7	65.0	n.s.						
イギリス	60.0	62.4	n.s.	40.0	a	68.3	bc	66.7	bc	90.0	bc	46.7	ab	45.0	ab	***
フィンランド	57.9	77.3	n.s.	50.0	a	70.0	ab	68.3	ab	67.8	ab	61.7	ab	79.3	b	n.s.
ドイツ	80.9	85.3	n.s.	89.3	79.7	91.5	79.7	78.6	83.1	n.s.						
フランス	58.8	67.3	n.s.	53.3	70.0	65.0	60.0	63.3	61.7	n.s.						
11.1ID/パスワードが勝手に使われる																
日本	81.2	90.3	n.s.	82.1	86.2	87.5	87.0	83.7	83.3	n.s.						
アメリカ	84.2	81.6	n.s.	80.0	ab	89.8	ab	80.0	ab	85.0	ab	91.7	b	69.5	a	*
チリ	18.3	16.7	n.s.	20.0	13.3	15.4	26.9	25.0	0.0	n.s.						
中国	93.3	91.0	n.s.	93.1	100.0	89.7	90.9	90.9	86.5	n.s.						
韓国	90.6	95.9	n.s.	92.9	89.7	94.3	98.0	92.3	91.3	n.s.						
シンガポール	84.1	92.0	n.s.	80.0	86.7	96.4	87.8	88.4	82.4	n.s.						
イギリス	75.7	67.7	n.s.	82.1	ab	67.4	ab	57.5	a	89.8	b	66.7	ab	69.6	ab	*
フィンランド	52.1	47.1	n.s.	56.0	46.4	43.9	51.0	56.6	47.4	n.s.						
ドイツ	51.2	55.7	n.s.	80.0	b	49.0	ab	64.6	ab	53.2	ab	40.9	a	42.9	a	*
フランス	71.6	75.0	n.s.	72.4	82.5	73.1	68.0	80.0	62.2	n.s.						
11.2ネットサービス業者から個人情報流出																
日本	87.2	93.6	n.s.	75.0	a	93.1	ab	94.6	ab	88.9	ab	95.4	b	83.3	ab	*
アメリカ	65.5	60.7	n.s.	50.0	61.0	63.3	63.3	68.3	66.1	n.s.						
チリ	7.3	10.0	n.s.	6.7	ab	1.7	a	2.6	a	30.8	b	25.0	ab	0.0	a	***
中国	87.9	92.5	n.s.	93.1	98.3	89.7	89.1	84.1	83.8	n.s.						
韓国	89.1	95.1	n.s.	89.3	84.5	90.6	98.0	94.9	100.0	n.s.						
シンガポール	84.1	87.2	n.s.	76.7	88.3	89.1	87.8	86.1	79.4	n.s.						
イギリス	69.9	62.9	n.s.	71.4	ab	67.4	ab	67.5	ab	89.8	b	53.7	a	52.2	a	**
フィンランド	37.3	38.5	n.s.	48.0	28.6	33.3	40.0	42.3	43.2	n.s.						
ドイツ	54.0	57.4	n.s.	56.0	63.3	54.2	63.0	42.9	52.6	n.s.						
フランス	64.5	70.5	n.s.	65.5	70.2	63.5	70.0	72.5	62.2	n.s.						
11.3意図せずに有害情報を見してしまう																
日本	51.9	70.2	n.s.	71.4	63.8	57.1	59.3	65.1	38.9	n.s.						
アメリカ	62.4	65.0	n.s.	30.0	a	62.7	b	73.3	b	61.7	b	65.0	b	72.9	b	**
チリ	13.4	12.2	n.s.	10.0	10.0	12.8	23.1	16.7	0.0	n.s.						
中国	77.2	79.0	n.s.	72.4	83.1	72.4	85.5	72.7	78.4	n.s.						
韓国	75.8	84.4	n.s.	71.4	ab	69.0	a	73.6	ab	89.8	ab	89.7	ab	95.7	b	**
シンガポール	68.1	84.0	n.s.	76.7	73.3	78.2	80.5	76.7	67.7	n.s.						
イギリス	63.2	64.5	n.s.	75.0	ab	69.8	ab	67.5	ab	83.7	b	46.3	a	47.8	a	***
フィンランド	19.0	25.0	n.s.	36.0	25.0	15.8	16.0	28.3	16.2	n.s.						
ドイツ	21.4	32.5	n.s.	40.0	14.3	31.9	34.8	20.9	25.6	n.s.						
フランス	63.1	69.7	n.s.	55.2	59.7	67.3	72.0	80.0	62.2	n.s.						

表注. 分散分析の結果: *** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.5

表注. 数値右側の a. b. c. は、Tukey 法により、同記号間では p<.05 の有意差がないことを示す。



(単位：%)

図 3.1 各国のネット利用率

表 3.5 ネット使用・未使用と不安を感じる人の割合の関係

(単位：%)

	ネット使用	日本	アメリカ	チリ	中国	韓国	シンガポール	イギリス	フィンランド	ドイツ	フランス
7.1 フィッシングで情報流出	使用	80.2	77.1	10.3	84.7	83.1	70.2	78.3	48.6	52.3	68.4
	未使用	79.5	33.3	0.0	71.4	84.1	54.4	56.7	68.0	49.2	72.4
7.2 未利用のネットサービス料金請求	使用	72.7	48.9	17.6	82.1	85.1	76.0	73.9	38.3	58.7	72.8
	未使用	71.6	33.3	1.8	62.5	79.3	58.8	52.9	64.6	73.0	70.7
7.3 ネットショッピングでカード情報が悪用	使用	85.5	48.9	7.9	88.0	91.9	77.9	69.0	57.2	60.3	72.8
	未使用	81.8	33.3	0.6	75.0	81.7	58.8	67.3	56.3	62.3	74.1
7.4 ネットショッピングでの商品の不具合	使用	67.8	54.1	5.5	82.1	80.6	76.7	61.9	34.7	32.0	64.3
	未使用	77.3	33.3	0.0	73.2	72.0	54.4	68.3	46.7	35.1	63.8
7.5 メール宛先間違いによる情報漏えい	使用	74.8	41.9	15.2	80.7	79.4	70.2	55.3	35.1	41.1	58.5
	未使用	71.6	33.3	6.1	76.8	81.7	61.8	64.4	44.9	46.8	60.3
7.6 迷惑メール	使用	69.0	50.2	39.4	60.2	73.8	48.1	63.7	41.2	53.6	48.5
	未使用	71.6	66.7	5.5	51.8	79.3	42.6	69.2	40.0	49.2	53.4
7.7 ウイルスの被害にあう	使用	90.1	49.2	58.8	88.7	82.3	72.5	60.2	69.5	62.3	65.8
	未使用	65.9	33.3	3.0	69.6	79.3	58.8	66.3	66.0	73.0	65.5
7.8 ネットに接続できなくなる	使用	69.4	54.7	53.3	72.6	71.0	65.3	58.8	36.8	41.2	59.6
	未使用	50.0	33.3	1.8	64.3	67.1	47.1	65.4	24.0	55.0	50.0
7.9 出会い系サイトで犯罪被害にあう	使用	40.5	39.4	15.2	78.5	75.8	64.1	43.8	23.4	20.9	48.2
	未使用	54.5	0.0	0.0	69.6	70.7	58.8	59.6	38.0	29.5	51.7
7.10 電磁波の悪影響	使用	41.7	40.4	3.6	77.0	62.9	58.0	58.8	13.3	15.7	50.4
	未使用	48.9	0.0	0.0	67.9	62.2	52.9	70.2	22.0	18.8	56.9
7.11 子供が有害情報を見てもう	使用	79.3	47.1	35.8	82.5	83.9	70.2	61.9	67.9	83.5	61.4
	未使用	77.3	0.0	1.8	75.0	78.0	66.2	59.6	66.0	81.5	70.7
11.1 IDパスワードが勝手に使われる	使用	85.5	83.2	16.4	92.3	93.1	88.2	75.7	49.6	53.1	73.5
	未使用	86.7	0.0	42.9	87.5	100.0	0.0	47.1	-	100.0	0.0
11.2 ネットサービス業者から個人情報が流す	使用	90.1	63.3	7.9	89.8	91.9	85.9	69.9	37.9	55.5	67.6
	未使用	93.3	0.0	28.6	100.0	100.0	0.0	44.1	-	100.0	0.0
11.3 意図せずに有害情報を見てもう	使用	60.3	63.6	12.7	77.4	79.8	76.0	65.5	21.9	26.6	66.5
	未使用	66.7	100.0	14.3	100.0	100.0	0.0	52.9	-	100.0	0.0

次に考えられるのが、各不安に対する被害を実際に経験したことが不安に影響を与える、という面だ。各項目の経験率は、全体としてみると、「意図せず有害情報を見る」以外は低くなっている。しかし詳しくみると、中国やシンガポールで経験率がやや高くなっている。中国などでは実際にフィッシングやネットショッピングで被害にあうことが多いので、不安も高くなったといえそうだ。しかしとくに日本などでは、不安は高いものの、実際の経験率は低く、この点は大変興味深い。

他方、ネット被害について新聞やニュース番組で見聞きしたことがあるかをたずねたと

ころ、日本・フィンランド・ドイツなどで、9割から8割に達し、極めて高い割合だった。また中国・韓国・フランスでも約7割と、比較的高かった。それに対して、チリでは報道で見聞きした人が1割から4割しかおらず、アメリカ・シンガポールでも約5割と低かった。ここから日本や韓国では、報道接触が高いことが不安の高さに影響しているといえる。逆にチリの低さは報道接触の低さが影響しているといえる。しかし、フィンランド・ドイツ・フランスなどは報道接触が高いわりには、不安はそれほど高くなく、報道の影響はみられなかった。全体としてみると、報道接触はネット不安にかなり影響しているといえる。ただその影響力は国によって大きく異なるといえる。

表 3.6 ネット被害の経験率

(単位：%)

	日本	アメリカ	チリ	中国	韓国	シンガポール	イギリス	フィンランド	ドイツ	フランス
7.1 フィッシングで情報流出	4.2	4.8	0.6	20.9	2.4	12.1	7.9	9.1	8.5	9.4
7.2 未利用のネットサービス料金請求	11.5	3.6	1.2	5.5	2.7	7.0	4.2	5.5	17.3	7.9
7.3 ネットショッピングでカード情報が悪用	1.2	4.8	0.6	6.4	2.1	2.1	3.9	2.7	4.8	7.3
7.4 ネットショッピングでの商品の不具合	7.9	8.2	1.2	20.6	16.1	8.8	7.3	14.8	9.1	11.5
7.5 メール宛先間違いによる情報漏えい	3.6	4.2	5.2	9.7	3.3	7.9	5.2	12.1	5.2	8.8
7.6 迷惑メール	47.9	21.5	18.5	55.8	37.9	46.4	19.1	73.3	59.1	27.0
7.7 ウイルスの被害にあう	20.3	16.7	23.3	50.3	23.0	33.3	13.3	51.2	33.0	26.4
7.8 ネットに接続できなくなる	20.0	22.1	40.0	56.4	31.5	41.2	16.7	76.7	8.5	25.8
7.9 出会い系サイトで犯罪被害にあう	0.9	4.5	1.2	7.9	3.9	2.1	5.2	0.9	1.5	5.2
7.10 電磁波の悪影響	1.8	0.9	0.3	17.9	3.6	4.8	5.2	9.4	1.2	5.5
7.11 子供が有害情報を見ってしまう	0.9	5.5	9.7	13.9	12.4	12.1	5.2	12.7	4.8	6.7
11.1 IDパスワードが勝手に使われる	0.8	5.2	4.1	11.7	10.4	9.1	7.7	6.4	2.7	7.3
11.2 ネットサービス業者から個人情報が流出	6.2	4.6	0.6	11.0	11.6	8.7	5.4	6.8	4.2	7.0
11.3 意図せずに有害情報を見ってしまう	10.9	14.0	2.3	31.2	17.6	23.6	8.8	35.7	10.0	14.7

表 3.7 ネット被害見聞率

(単位：%)

	日本	アメリカ	チリ	中国	韓国	シンガポール	イギリス	フィンランド	ドイツ	フランス
7.1 フィッシングで情報流出	90.9	55.5	10.9	72.7	67.0	56.1	79.7	92.1	88.2	73.0
7.2 未利用のネットサービス料金請求	93.0	57.6	13.9	61.8	51.2	41.8	73.6	74.2	88.5	70.0
7.3 ネットショッピングでカード情報が悪用	89.7	51.5	17.3	68.2	61.2	49.4	73.0	88.8	83.9	74.5
7.4 ネットショッピングでの商品の不具合	81.5	39.1	21.5	72.7	71.8	43.3	69.4	82.7	80.6	71.5
7.5 メール宛先間違いによる情報漏えい	60.6	42.1	24.8	56.4	53.0	38.2	73.0	68.2	80.9	66.7
7.6 迷惑メール	85.2	45.8	38.5	76.1	79.1	54.5	73.3	94.5	80.0	72.1
7.7 ウイルスの被害にあう	89.7	40.6	40.9	77.6	71.8	56.1	71.2	98.2	89.7	75.8
7.8 ネットに接続できなくなる	51.2	43.9	47.6	69.4	54.8	45.5	72.1	87.0	72.7	74.2
7.9 出会い系サイトで犯罪被害にあう	89.4	50.3	19.1	68.5	60.3	44.5	74.5	77.0	73.3	69.1
7.10 電磁波の悪影響	64.8	50.0	12.7	66.1	55.8	31.2	70.9	79.4	78.2	71.5
7.11 子供が有害情報を見ってしまう	89.1	50.0	27.6	71.2	74.2	50.6	75.2	92.4	85.5	75.2
11.1 IDパスワードが勝手に使われる	75.9	63.7	30.2	64.5	78.8	60.1	69.2	81.8	81.5	71.4
11.2 ネットサービス業者から個人情報が流出	85.2	47.6	18.6	63.8	72.8	47.5	62.7	61.4	72.6	68.9
11.3 意図せずに有害情報を見ってしまう	74.7	62.8	36.6	72.7	72.8	61.2	68.1	72.9	76.1	73.6

4. プライバシー不安とセキュリティ対策

4.1 プライバシー不安

(1) 全般的傾向

調査ではインターネット上でのプライバシーに関し、以下の8項目について不安感を質問した。

- (1) 自分のクレジットカード番号を書く
- (2) 自宅住所を書く
- (3) 自分の電話番号を書く
- (4) 自分の顔写真を載せる
- (5) 自分のメールアドレスを書く
- (6) 自分のウェブ閲覧履歴を収集される
- (7) 自分の購入履歴を収集される
- (8) インターネットに関わらず、携帯電話のGPSで、自分が行った場所の情報を収集される

選択肢は「とても不安」「やや不安」「あまり不安ではない」「まったく不安ではない」の4択であるが、「とても不安」と「やや不安」の比率を合計した「不安に感じている人の比率(以下、「不安度」と呼ぶ)を、上位から国別に高い順に示したのが表4.1である。

ネット上でのプライバシーの流出に関する日本人の不安は、10カ国の中で相対的に極めて大きい。8項目中すべての項目で不安の大きさは3位以内に位置しており、とくに「自分の顔写真を載せる」は不安に思う人が85.2%で第1位である。その他、「自分の電話番号を書く(66.7%)」「自分のメールアドレスを書く(62.7%)」「自分のウェブ閲覧履歴を収集される(68.8%)」「インターネットに関わらず、携帯電話のGPSで、自分が行った場所の情報を収集される(66.4%)」が第2位であった。

なお、日本以外に、この種の領域では、中国、アメリカの不安度が高い。たとえば、中国は「自宅住所を書く」「自分の電話番号を書く」「自分のウェブ閲覧履歴を収集される」「自分の購入履歴を収集される」「インターネットに関わらず、携帯電話のGPSで、自分が行った場所の情報を収集される」の5項目で10カ国中第一位を占めている。背景に、インターネット利用に際する情報検閲への不安感が存在している可能性がある。

表 4.1 プライバシーをめぐる不安（不安度の高い順）

（単位：％）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(1) 自分のクレジットカード番号を書く	アメリカ	中国	日本	イギリス	ドイツ	フランス	シンガポール	フィンランド	韓国	チリ
	85.8	82.7	80.6	78.5	69.1	62.1	58.8	47.7	31.2	9.4
(2) 自宅住所を書く	中国	アメリカ	日本	イギリス	ドイツ	シンガポール	韓国	フランス	フィンランド	チリ
	73.9	72.4	69.4	60.0	55.7	48.8	44.2	42.1	23.7	19.4
(3) 自分の電話番号を書く	中国	日本	イギリス	アメリカ	ドイツ	シンガポール	フランス	韓国	フィンランド	チリ
	73.0	66.7	63.0	61.2	47.7	44.6	39.7	38.5	25.6	22.4
(4) 自分の顔写真を載せる	日本	中国	ドイツ	イギリス	アメリカ	シンガポール	フランス	フィンランド	韓国	チリ
	85.2	63.6	50.8	50.6	48.2	45.5	43.6	36.5	20.0	12.7
(5) 自分のメールアドレスを書く	韓国	日本	アメリカ	イギリス	中国	シンガポール	フランス	ドイツ	フィンランド	チリ
	70.3	62.7	53.0	48.2	39.1	38.5	31.2	30.4	19.0	53.0
(6) 自分のウェブ閲覧履歴を収集される	中国	日本	アメリカ	イギリス	シンガポール	フランス	韓国	ドイツ	フィンランド	チリ
	72.4	68.8	68.5	57.0	49.4	41.5	41.5	43.5	30.7	10.0
(7) 自分の購入履歴を収集される	中国	アメリカ	日本	イギリス	シンガポール	韓国	フランス	ドイツ	フィンランド	チリ
	66.4	66.1	65.5	61.5	53.0	46.4	45.2	42.1	32.9	7.9
(8) インターネットに関わらず、携帯電話のGPSで、自分が行った場所の情報を収集される	中国	日本	イギリス	アメリカ	フランス	シンガポール	ドイツ	韓国	フィンランド	チリ
	75.2	66.4	65.5	64.2	51.5	46.1	37.3	32.7	9.9	4.6

表注．表中の数値は、「とても不安」と「やや不安」の比率の合計

(2) 男女別、年齢層別の傾向

表 4.2、表 4.3 は、プライバシーをめぐる不安を各国ごとに男女別、年代別に比較したものである。数値は表 4.2 同様、「とても不安」「やや不安」を合計した比率である。男女別に見た場合、不安度は項目、国によってばらつきが異なり、一貫した傾向は見られないが、概して言えば、男性より女性の方が不安度が高い傾向にある。

日本に関して言えば、質問した 8 項目中「自分のクレジットカード番号を書く」「自宅住所を書く」「自分の電話番号を書く」「自分の顔写真を載せる」「自分のメールアドレスを書く」「自分の購入履歴を収集される」「インターネットに関わらず、携帯電話の GPS で、自分が行った場所の情報を収集される」の 7 項目で、有意に男性より女性の不安度が高い。これほど、ほぼ一貫して男女差があり、しかもすべてにおいて女性の方が不安度が高いという国は他にはない。

年層別に見た場合も項目により、あるいは国により傾向は異なる。全体で見れば、「自分の購入履歴を収集される」は 20 代を最上位にして、若年層ほど不安度が高いが、これはネットショッピング等、実際の利用度が高いことを反映していると考えられる。日本に関しては、年代別に有意差のある項目はなかった。

表 4.2 プライバシーをめぐる不安（男女別・年齢層別）（1）

（単位：％）

	男性	女性	T検定	10代	20代	30代	40代	50代	60代	F検定
自分のクレジットカード番号を書く										
日本	73.3	87.9	***	66.7	78.3	83.3	85.0	88.3	75.0	n.s.
アメリカ	84.9	86.7		86.7	83.3	86.7	83.3	88.3	86.7	n.s.
チリ	9.1	9.7		0.0 c	23.3 a	20.0 ab	6.7 bc	1.7 c	0.0 c	***
中国	81.2	84.2		80.0	88.3	80.0	86.7	85.0	75.0	n.s.
韓国	33.3	29.1		36.7 ab	45.0 a	43.3 ab	21.7 ab	18.3 b	25.0 ab	**
シンガポール	58.8	58.8		56.7	60.0	60.0	56.7	58.3	60.0	n.s.
イギリス	76.4	80.6		80.0	73.3	75.0	86.7	85.0	71.7	n.s.
フィンランド	39.9	55.6	**	32.1 b	36.7 ab	43.3 ab	46.7 ab	63.3 a	56.1 ab	*
ドイツ	63.0	75.0	*	68.2	64.6	68.6	69.2	67.4	75.6	n.s.
フランス	59.4	64.9		56.7	68.3	63.3	55.0	60.0	66.7	n.s.
全体	57.9	63.1	**	56.2	62.1	62.3	59.6	61.5	58.8	n.s.
自宅住所を書く										
日本	62.4	76.4	**	66.7	73.3	63.3	70.0	75.0	66.7	n.s.
アメリカ	75.2	69.7		83.3	63.3	76.7	71.7	75.0	70.0	n.s.
チリ	18.2	20.6		33.3 a	31.7 a	26.7 ab	20.0 abc	8.3 bc	3.3 c	***
中国	70.3	77.6		53.3 b	65.0 ab	73.3 ab	80.0 a	85.0 a	76.7 ab	*
韓国	50.3	38.2 *		46.7	51.7	56.7	40.0	38.3	33.3	n.s.
シンガポール	45.5	52.1		53.3	41.7	51.7	61.7	46.7	40.0	n.s.
イギリス	69.1	50.9	***	56.7 abc	56.7 abc	75.0 ab	80.0 a	51.7 bc	38.3 c	***
フィンランド	21.3	26.1		20.0	21.7	15.0	20.0	35.0	28.8	n.s.
ドイツ	47.1	64.2	**	71.4	60.0	58.9	56.1	44.6	51.0	n.s.
フランス	43.6	40.6		46.7	36.7	40.0	43.3	38.3	50.0	n.s.
全体	50.3	51.6		53.0 a	50.1 a	53.7 a	54.3 a	49.8 a	45.8 a	*
自分の電話番号を書く										
日本	58.2	75.2	**	63.3	66.7	61.7	66.7	78.3	61.7	n.s.
アメリカ	65.5	57.0		43.3 b	61.7 ab	75.0 a	63.3 ab	61.7 ab	53.3 ab	n.s.
チリ	20.0	24.9		46.7 a	35.0 ab	33.3 ab	20.0 bc	10.0 c	1.7 c	***
中国	69.7	76.4		63.3	68.3	70.0	80.0	76.7	75.0	n.s.
韓国	44.2	32.7 *		36.7	45.0	50.0	38.3	30.0	30.0	n.s.
シンガポール	40.0	49.1		56.7	40.0	40.0	56.7	43.3	36.7	n.s.
イギリス	60.6	65.5		53.3 a	65.0 a	70.0 a	75.0 a	61.7 a	48.3 a	*
フィンランド	22.0	29.3		36.7	23.3	17.0	26.7	26.7	28.8	n.s.
ドイツ	42.9	52.6		60.7	51.9	48.2	50.9	42.6	36.0	n.s.
フランス	38.2	41.2		46.7	41.7	33.3	41.7	35.0	43.3	n.s.
全体	46.2	50.4	*	50.7 a	49.8 ab	49.9 ab	51.9 a	46.6 ab	41.6 b	**
自分の顔写真を載せる										
日本	78.2	92.1	***	93.3	85.0	80.0	81.7	88.3	86.7	n.s.
アメリカ	45.5	50.9		33.3	50.0	58.3	41.7	46.7	51.7	n.s.
チリ	11.5	13.9		23.3 a	18.3 ab	16.7 ab	16.7 ab	6.7 ab	0.0 b	**
中国	60.0	67.3		63.3 ab	41.7 b	63.3 ab	66.7 ab	76.7 a	70.0 a	**
韓国	26.1	13.9	**	30.0 ab	35.0 a	28.3 ab	11.7 bc	10.0 b	10.0 b	***
シンガポール	41.8	49.1		53.3	36.7	50.0	40.0	43.3	53.3	n.s.
イギリス	50.9	50.3		50.0 ab	70.0 a	63.3 ab	41.7 bc	38.3 b	40.0 b	***
フィンランド	29.2	43.8	**	6.7 b	25.0 ab	31.7 ab	45.8 a	50.9 a	45.5 a	***
ドイツ	43.3	58.5	*	52.0	50.0	61.7	62.2	38.5	42.1	n.s.
フランス	43.0	44.2		33.3	50.0	41.7	43.3	46.7	41.7	n.s.
全体	43.0	48.2	**	43.7	46.1	49.2	44.7	44.8	44.2	n.s.

表 4.3 プライバシーをめぐる不安（男女別・年齢層別）（2）

（単位：％）										
	男性	女性	T検定	10代	20代	30代	40代	50代	60代	F検定
自分のメールアドレスを書く										
日本	53.9	71.5 ***		53.3	55.0	58.3	61.7	76.7	66.7	n.s.
アメリカ	55.2	50.9		33.3	53.3	50.0	56.7	58.3	56.7	n.s.
チリ	11.5	13.9		23.3 a	18.3 ab	15.0 ab	16.7 ab	6.7 ab	1.7 b	*
中国	35.2	43.0		16.7 b	30.0 ab	36.7 ab	40.0 ab	56.7 a	43.3 ab	**
韓国	73.3	67.3		90.0 a	88.3 ab	76.7 abc	65.0 bc	56.7 c	55.0 c	***
シンガポール	34.6	42.4		33.3	28.3	38.3	41.7	40.0	46.7	n.s.
イギリス	49.1	47.3		40.0 a	60.0 a	58.3 a	38.3 a	50.0 a	38.3 a	*
フィンランド	20.3	17.8		6.7 b	13.3 ab	20.0 ab	15.0 ab	30.0 a	23.2 ab	n.s.
ドイツ	25.6	35.0		40.7	21.8	40.7	34.5	31.5	20.0	n.s.
フランス	30.9	31.5		13.3	23.3	38.3	33.3	36.7	33.3	n.s.
全体	39.1	42.1		35.0 b	39.3 ab	43.3 ab	40.3 ab	44.4 a	38.9 ab	n.s.
自分のウェブ閲覧履歴を収集される										
日本	64.9	72.7		63.3	71.7	71.7	68.3	73.3	61.7	n.s.
アメリカ	69.1	67.9		63.3	75.0	70.0	66.7	73.3	60.0	n.s.
チリ	9.1	10.9		20.0 a	11.7 ab	15.0 ab	13.3 ab	5.0 ab	0.0 b	*
中国	70.3	74.6		76.7	71.7	65.0	81.7	76.7	65.0	n.s.
韓国	46.1	37.0		63.3 a	48.3 ab	48.3 ab	28.3 bc	35.0 b	36.7 ab	*
シンガポール	41.8	57.0 **		60.0	46.7	53.3	40.0	45.0	56.7	n.s.
イギリス	55.8	58.2		33.3 d	65.0 ab	63.3 abc	85.0 a	38.3 dc	45.0 bcd	***
フィンランド	25.2	36.2 *		33.3	20.0	23.3	33.3	39.0	36.8	n.s.
ドイツ	35.9	51.3 **		66.7 a	46.2 ab	48.2 ab	43.9 ab	32.7 b	38.5 ab	n.s.
フランス	40.6	42.4		26.7	38.3	45.0	46.7	48.3	36.7	n.s.
全体	45.9	50.8 **		50.5	49.5	50.3	50.8	46.9	43.8	n.s.
自分の購入履歴を収集される										
日本	57.6	73.3 **		56.7	70.0	61.7	61.7	76.7	61.7	n.s.
アメリカ	63.6	68.5		60.0	68.3	70.0	68.3	63.3	63.3	n.s.
チリ	7.9	7.9		0.0 c	20.0 a	18.3 ab	5.0 bc	0.0 c	0.0 c	***
中国	64.2	68.5		60.0	73.3	60.0	76.7	63.3	61.7	n.s.
韓国	46.1	46.7		60.0 a	61.7 a	48.3 a	38.3 a	36.7 a	40.0 a	*
シンガポール	50.9	55.2		46.7	58.3	56.7	53.3	45.0	55.0	n.s.
イギリス	60.6	62.4		46.7 c	61.7 bc	75.0 ab	90.0 a	40.0 c	48.3 c	***
フィンランド	32.5	33.3		46.7	28.3	26.7	31.7	34.5	37.0	n.s.
ドイツ	38.2	46.1		57.1	46.7	45.1	47.9	26.7	44.2	n.s.
フランス	41.2	49.1		30.0	51.7	48.3	45.0	51.7	36.7	n.s.
全体	46.5	51.3 **		46.1 ab	54.2 a	51.1 ab	51.9 ab	44.3 b	44.9 b	**
インターネットに関わらず、携帯電話のGPSで、自分が行った場所の情報を収集される										
日本	59.4	73.3 **		63.3	70.0	70.0	70.0	70.0	53.3	n.s.
アメリカ	63.6	64.9		53.3	63.3	66.7	66.7	65.0	65.0	n.s.
チリ	5.5	3.6		13.3 a	11.7 a	3.3 ab	3.3 ab	0.0 b	0.0 b	**
中国	73.3	77.0		76.7	80.0	66.7	80.0	75.0	73.3	n.s.
韓国	35.2	30.3		33.3	31.7	36.7	21.7	28.3	45.0	n.s.
シンガポール	40.0	52.1 *		50.0	40.0	41.7	53.3	43.3	50.0	n.s.
イギリス	63.0	67.9		36.7 c	75.0 ab	80.0 ab	85.0 a	55.0 bc	46.7 c	***
フィンランド	13.0	6.8		13.3	11.7	5.0	10.0	15.5	5.3	n.s.
ドイツ	32.9	41.7		52.0	38.9	47.3	35.6	28.9	33.3	n.s.
フランス	48.5	54.6		56.7 ab	65.0 a	53.3 ab	48.3 ab	51.7 ab	36.7 b	n.s.
全体	43.6	47.3 *		44.8	48.8	47.1	47.4	43.6	41.2	n.s.

表 4.2、表 4.3 に関する注

男女別は t 検定結果。年代別は分散分析の結果。いずれも* : p<.05、** : p<.01、*** : p<.001 の有意水準。また、数値右側の a, b, c は、Tukey の多重範囲検定で、同記号間では p<.05 の有意差がないことを示す。

4.2 ネット上のセキュリティ対策

(1) 全般的傾向

調査ではインターネット利用時のセキュリティ対策として、以下の6項目について質問した。

- (1) ウィルス対策ソフトを使っている
- (2) ウィルス対策ソフトを常に最新の状態にアップデートしている
- (3) 有害サイトへのアクセスを防止するフィルタリングサービスを利用している
- (4) 不審なメールの本文あるいは添付ファイルを開かない
- (5) サイトによって実名、自宅住所、顔写真などの個人情報を登録しない
- (6) メールを送信したりインターネット上で発言をするときは、トラブルが起きないように書き込む前に内容を見直す

質問形式は「行っているものをすべて答える」という複数回答形式であり、選択された比率を上位から国別に高い順に示したのが表4.4である。

表 4.4 セキュリティ対策（国別、対応率の高い順）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ウィルス対策ソフトを使っている	チリ	フィンランド	ドイツ	日本	イギリス	シンガポール	中国	アメリカ	フランス	韓国
	95.9	95.0	90.0	86.8	85.0	84.8	82.3	78.7	76.9	72.0
ウィルス対策ソフトを常に最新の状態にアップデートしている	フィンランド	ドイツ	イギリス	アメリカ	シンガポール	中国	日本	チリ	フランス	韓国
	89.3	85.3	84.6	74.1	73.0	71.3	68.5	65.1	63.4	53.6
有害サイトへのアクセスを防止するフィルタリングサービスを利用している	イギリス	中国	アメリカ	シンガポール	ドイツ	フランス	フィンランド	日本	韓国	チリ
	78.1	61.7	58.8	56.7	51.4	39.6	38.6	38.5	37.2	12.8
不審なメールの本文あるいは添付ファイルを開かない	フィンランド	日本	韓国	ドイツ	イギリス	シンガポール	中国	アメリカ	フランス	チリ
	94.3	92.2	81.2	76.5	71.5	71.5	63.1	62.5	56.8	48.3
サイトによって実名、自宅住所、顔写真などの個人情報を登録しない	日本	韓国	フィンランド	イギリス	アメリカ	ドイツ	シンガポール	中国	フランス	チリ
	93.4	75.2	7436.0	68.5	66.8	65.3	57.8	55.3	41.8	18.0
メールを送信したりインターネット上で発言をするときは、トラブルが起きないように書き込む前に内容を見直す	フィンランド	日本	シンガポール	ドイツ	韓国	イギリス	アメリカ	中国	フランス	チリ
	88.9	88.7	73.8	72.2	71.2	66.9	66.2	60.3	51.7	36.1

日本の順位を見た場合、「ウィルス対策ソフトを使っている(86.8%)」は中程度の4位であるが、「ウィルス対策ソフトを常に最新の状態にアップデートしている(68.5%)」は第7位、「有害サイトへのアクセスを防止するフィルタリングサービスを利用している(38.5%)」は第8位とかなり低い順位である。

一方、「サイトによって実名、自宅住所、顔写真などの個人情報を登録しない(93.4%)」は第1位と高く、プライバシー流出に対する不安度が高いこと(4.2参照)と相応している。また、「不審なメールの本文あるいは添付ファイルを開かない(92.2%)」「メールを送信したりインターネット上で発言をするときは、トラブルが起きないように書き込む前に内容を見直す(88.7%)」はともに第2位であり、メールの受発信やサイトへの書き込みなど個人的に被害を被ったり、トラブルに巻き込まれたりするおそれのある利用行動には注意を払って

ることが見て取れる。

(2) 男女別、年代別比較

表 4.5、表 4.6 は、セキュリティ対策の実施率を各国ごとに男女別、年代別に比較したものである。男女別に見た場合、実施率は項目や国によってばらつきが異なり、一貫した傾向は見られない。

日本に関して言えば、「ウイルス対策ソフトを常に最新の状態にアップデートしている」の項目にのみ有意差があり、女性より男性の方が実施率が高い。

表 4.5 セキュリティ対策（男女別、年齢層別）(1)

	男性	女性	T検定	10代	20代	30代	40代	50代	60代	F検定
ウイルス対策ソフトを使っている										
日本	88.7	84.7		71.4 ab	91.4 a	91.1 a	88.9 a	93.0 a	61.1 b	**
アメリカ	78.8	78.5		63.3	78.0	78.3	85.0	81.7	78.0	n.s.
チリ	96.3	95.6		100.0 a	100.0 a	87.2 a	92.3 a	100.0 a	100.0 a	*
中国	83.2	81.2		79.3	89.8	87.9	78.2	75.0	78.4	n.s.
韓国	74.2	69.7		64.3	74.1	75.5	77.6	69.2	60.9	n.s.
シンガポール	86.2	83.2		83.3 ab	86.7 a	94.6 ab	82.9 ab	90.7 a	61.8 b	**
イギリス	81.6	88.7		78.6	86.1	87.5	95.9	79.6	80.4	n.s.
フィンランド	91.6	98.6 **		96.0	96.4	91.2	96.1	96.2	94.7	n.s.
ドイツ	90.1	89.8		95.8	98.0	91.1	89.4	80.0	83.8	n.s.
フランス	79.4	74.2		75.9	86.0	78.9	70.0	80.0	68.9	n.s.
全体	84.5	84.1		80.4 bc	88.6 a	86.2 ab	85.3 ab	83.6 ab	76.3 c	***
ウイルス対策ソフトを常に最新の状態にアップデートしている										
日本	75.9	60.5 **		57.1	63.8	78.6	72.2	69.8	55.6	n.s.
アメリカ	75.2	73.0		80.0 a	84.8 a	81.7 a	71.7 ab	76.7 ab	52.5 b	***
チリ	62.2	67.8		73.3	68.3	51.3	65.4	66.7	80.0	n.s.
中国	73.2	69.2		65.5	69.5	74.1	76.4	75.0	62.2	n.s.
韓国	57.0	50.0		35.7 ab	67.2 a	62.3 ab	51.0 ab	33.3 b	60.9 ab	**
シンガポール	74.6	71.2		63.3	75.0	80.0	75.6	79.1	55.9	n.s.
イギリス	86.8	82.3		75.0 a	81.4 a	72.5 a	93.9 a	88.9 a	89.1 a	*
フィンランド	84.5	94.2 **		96.0	85.7	93.0	88.2	88.7	86.8	n.s.
ドイツ	84.7	85.9		91.7	85.7	91.1	83.0	80.0	81.1	n.s.
フランス	63.8	62.9		58.6	77.2	67.3	60.0	60.0	51.1	n.s.
全体	74.4	72.1		69.0 ab	75.5 a	75.9 a	74.1 ab	73.7 ab	66.7 b	*
有害サイトへのアクセスを防止するフィルタリングサービスを利用している										
日本	36.8	40.3		50.0	37.9	37.5	37.0	32.6	44.4	n.s.
アメリカ	65.5	52.2 *		40.0 b	72.9 a	70.0 a	46.7 ab	60.0 ab	54.2 ab	**
チリ	18.3	7.8 *		20.0	20.0	10.3	0.0	0.0	0.0	n.s.
中国	61.7	61.7		58.6 ab	69.5 ab	74.1 a	58.2 ab	56.8 ab	43.2 b	*
韓国	35.2	39.3		50.0	34.5	28.3	46.9	30.8	39.1	n.s.
シンガポール	55.1	58.4		46.7	58.3	63.6	58.5	65.1	38.2	n.s.
イギリス	68.4	88.7 ***		60.7	79.1	80.0	83.7	81.5	76.1	n.s.
フィンランド	34.5	42.8		56.0	32.1	42.1	37.3	30.2	44.7	n.s.
ドイツ	50.4	52.3		37.5	59.2	60.0	55.3	46.7	40.5	n.s.
フランス	40.4	38.6		24.1 a	52.6 a	50.0 a	32.0 a	37.5 a	31.1 a	*
全体	48.3	49.4		44.1	50.8	52.2	47.5	48.7	46.5	n.s.

表 4.6 セキュリティ対策（男女別、年齢層別）（2）

	男性	女性	T検定	10代	20代	30代	40代	50代	60代	F検定
不審なメールの本文あるいは添付ファイルを開かない										
日本	94.0	90.3		96.4 a	91.4 ab	91.1 ab	94.4 ab	95.4 ab	77.8 b	n.s.
アメリカ	58.2	66.9		63.3	66.1	60.0	63.3	65.0	57.6	n.s.
チリ	47.6	48.9		50.0	45.0	51.3	50.0	33.3	80.0	n.s.
中国	67.1	58.7		58.6	67.8	69.0	58.2	70.5	48.7	n.s.
韓国	78.9	83.6		64.3	84.5	83.0	83.7	82.1	82.6	n.s.
シンガポール	68.8	74.4		56.7 ab	78.3 ab	78.2 ab	68.3 ab	81.4 a	52.9 b	*
イギリス	67.7	75.8		64.3	60.5	67.5	71.4	79.6	80.4	n.s.
フィンランド	90.9	97.8 *		92.0	98.2	94.7	96.1	88.7	94.7	n.s.
ドイツ	71.0	82.0 *		58.3 b	83.7 ab	86.7 a	78.7 ab	66.7 ab	73.0 ab	*
フランス	56.0	57.6		51.7 ab	77.2 a	55.8 ab	46.0 b	47.5 ab	55.6 ab	*
全体	70.6	74.1 *		65.1 b	75.3 a	74.4 a	72.0 ab	74.1 a	67.8 ab	*

サイトによって実名、自宅住所、顔写真などの個人情報を登録しない

日本	91.7	95.2		92.9	89.7	94.6	94.4	97.7	88.9	n.s.
アメリカ	67.3	66.3		53.3	74.6	60.0	63.3	66.7	76.3	n.s.
チリ	23.2	13.3		0.0	23.3	23.1	19.2	16.7	20.0	n.s.
中国	54.4	56.4		41.4	49.2	65.5	58.2	59.1	51.4	n.s.
韓国	73.4	77.1		64.3	69.0	69.8	79.6	84.6	91.3	n.s.
シンガポール	54.4	61.6		63.3	55.0	54.6	70.7	55.8	50.0	n.s.
イギリス	58.1	79.8 ***		71.4	58.1	62.5	73.5	74.1	69.6	n.s.
フィンランド	72.5	76.8		64.0 a	60.7 ab	70.2 a	86.3 a	86.8 a	76.3 a	**
ドイツ	57.3	73.4 **		50.0	77.6	75.6	61.7	62.2	59.5	n.s.
フランス	46.8	36.4		24.1 b	56.1 a	46.2 ab	38.0 ab	40.0 ab	35.6 ab	n.s.
全体	61.3	65.0		52.0 b	61.0 ab	63.3 a	66.8 a	68.6 a	63.7 a	***

メールを送信したりインターネット上で発言をするときは、トラブルが起きないように書き込む前に内容を見直す

日本	87.2	90.3		96.4 a	81.0 ab	94.6 a	90.7 ab	90.7 ab	72.2 b	*
アメリカ	63.6	68.7		60.0	71.2	63.3	75.0	65.0	59.3	n.s.
チリ	36.6	35.6		33.3	26.7	48.7	38.5	41.7	40.0	n.s.
中国	59.7	60.9		48.3	59.3	75.9	63.6	52.3	51.4	n.s.
韓国	69.5	73.0		50.0 b	74.1 ab	67.9 ab	81.6 a	76.9 ab	65.2 ab	n.s.
シンガポール	71.7	76.0		56.7 b	80.0 ab	85.5 a	75.6 ab	65.1 ab	67.7 ab	*
イギリス	58.1	76.6 **		67.9	62.8	70.0	65.3	70.4	65.2	n.s.
フィンランド	86.6	91.3		84.0	87.5	91.2	94.1	84.9	89.5	n.s.
ドイツ	71.0	73.4		66.7	75.5	82.2	76.6	64.4	64.9	n.s.
フランス	50.4	53.0		51.7	64.9	50.0	56.0	45.0	37.8	n.s.
全体	66.5	70.8 *		60.9 b	68.2 ab	73.8 a	73.4 a	67.9 ab	62.0 b	***

表 4.5、表 4.6 に関する注

男女別は t 検定結果。年代別は分散分析の結果。いずれも* : p<.05, ** : p<.01, *** : p<.001 の有意水準。また、数値右側の a, b, c は、Tukey の多重範囲検定で、同記号間では p<.05 の有意差がないことを示す。

年齢層に見た場合も項目により、あるいは国により傾向は異なるが、概して言えば若年層ほど実施率が高い傾向にある。

日本に関して言えば、「ウィルス対策ソフトを使っている」「メールを送信したりインターネット上で発言をするときは、トラブルが起きないように書き込む前に内容を見直す」の 2 項目で有意差があり、前者は 50 代を最上位として年齢が高いほど実施率が高い（後者は明確な線形性は見られない）。

5. CGM不安・サービスマ利用時の着目点・リスクと発生確率・子どもの有害情報接触

5.1 CGM(電子掲示板・ブログ・SNS)利用時の不安・被害経験・マスコミ上のニュース接触

特定のCGMトラブルに対して、不安の大きさ・被害経験・見聞経験をそれぞれ調査した。対象とするCGMとしては、主に電子掲示板・ブログ・SNSとし、「掲示板やブログ、SNSなどを利用するときに」という表現で調査を行った。採用した特定のCGMトラブルとしては、これまでの同様の調査から厳選して、「(1) インターネット上で悪口・暴言・挑発的な言葉を書かれる(以下、『ネット上の悪口』)」「(2) 他人によって、自宅住所や電話番号を勝手にインターネットに載せられる(以下、『個人情報晒し』)」「(3) 自分で、インターネットに載せた自宅住所や電話番号が原因で被害にあう(以下、『個人情報悪用』)」を採用した。

上記(1)(2)は、インターネット利用者ではなくとも、容易に状況が想像できると想定し、対象者を全員とし、(3)は、インターネット利用者ではなければ正しく回答できないと想定し、別の設問において、PCまたは携帯電話でウェブサイトを利用していると回答した者を対象者とした(対象者は3,300名中2,624名)。

なお、本節において、チリは国別順位で最下位がほとんどであり、基本的に言及はしない。

5.1.1 CGMトラブル発生時の不安の大きさ

各CGMトラブル発生時の不安の大きさを調査するにあたり、「とても不安」「やや不安」「あまり不安ではない」「まったく不安ではない」といった選択肢を用意し、それぞれのCGMトラブルに対する不安の大きさを調査した。本章では、同様の選択肢を有する設問において、「とても不安」または「やや不安」を選択した場合を「不安」、「あまり不安ではない」「まったく不安ではない」を選択した場合を「不安ではない」と定義する。

それぞれのCGMトラブルに対して不安を感じる者の割合について、表5.1にて示す。なお、全回答において「不安」である者の割合が多い国の順に順位をつけている。

(1) ネット上の悪口について、不安である者の割合が多かったのが、韓国(74.8%)、アメリカ(73.9%)、中国(69.1%)で、日本(65.8%)がそれに続く。逆に少なかったのが、フィンランド(20.9%)とドイツ(31.9%)であった。また、チリはトラブル全般について、あまり気にしないようである。

(2) 個人情報晒しについて、不安である者の割合が多かったのが、韓国(91.2%)、中国(90.0%)、日本(83.6%)で、シンガポール(78.5%)がそれに続く。逆に少なかったのが、フィンランド(46.2%)とドイツ(55.2%)であった。

(3) 個人情報悪用について、不安である者の割合が多かったのが、中国(91.5%)、韓国

(90.8%)、シンガポール(81.4%)で、日本(73.5%)がそれに続く。逆に少なかったのが、フィンランド(22.6%)とドイツ(42.6%)であった。

これらの結果より、CGM サービスにおけるトラブルに対する不安は全般的にアジアが高く、フィンランドとドイツが低いことが判明した。

表5.1 CGMトラブル3種に対する不安を感じる者の割合

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ネット上の悪口不安	韓国 74.8%	アメリカ 73.9%	中国 69.1%	日本 65.8%	イギリス 59.7%	シンガポール 54.5%	フランス 54.2%	ドイツ 31.9%	フィンランド 20.9%	チリ 10.0%
個人情報晒し不安	韓国 91.2%	中国 90.0%	日本 83.6%	シンガポール 78.5%	イギリス 67.0%	フランス 66.7%	アメリカ 64.5%	ドイツ 55.2%	フィンランド 46.2%	チリ 26.1%
個人情報悪用不安	中国 91.5%	韓国 90.8%	シンガポール 81.4%	日本 73.5%	イギリス 68.5%	フランス 64.5%	アメリカ 59.8%	ドイツ 42.6%	チリ 34.9%	フィンランド 22.6%
(全平均)	韓国 85.6%	中国 83.5%	日本 74.3%	シンガポール 71.5%	アメリカ 66.1%	イギリス 65.0%	フランス 61.8%	ドイツ 43.3%	フィンランド 29.9%	チリ 23.6%

5.1.2 CGMトラブルの被害経験

次に、これらのCGMトラブルに実際に遭った経験について、表5.2に示す。表中の%付きの値は、CGMトラブルごとの、全有効回答における「このトラブルの被害に遭ったことがある」という回答の割合を示したもので、表中の順位については国ごとに比較して、被害経験がある者の割合が高い順の序列を表す。

CGMトラブルに対して全般的に不安が高い韓国・中国・日本について、中国(13.4%)と韓国(8.9%)は実際に被害に多く遭っているのに対し、日本(2.7%)はあまり被害に遭っていないことが分かった。

一方、(1)ネット上の悪口に対する不安が低いフィンランドとドイツについて、フィンランドは実際に被害に多く遭っている(10.3%)のに対し、ドイツ(2.4%)はあまり被害に遭っていないことが分かった。

また、(3)個人情報悪用について、シンガポール(8.7%)は、韓国や中国同様、実際に被害に多く遭い、かつ強く不安を感じていることが分かった。

5.1.3 CGMトラブルの見聞経験

これらのCGMトラブルに関する報道を見聞きした経験がある割合を表5.3に示す。表中の%付きの値は、トラブルごとの、全有効回答における「このトラブルの被害報道を見聞きしたことがある」という回答の割合を示したもので、表中の順位については国ごとに比較して、見聞経験がある者の割合が高い順の序列を表す。

表5.2 CGMトラブル被害経験

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ネット上の悪口被害経験	フィンランド 10.3%	韓国 7.0%	中国 6.7%	イギリス 6.4%	フランス 6.1%	アメリカ 5.2%	日本、シンガポール 4.8%	ドイツ 2.4%	チリ 1.5%	
個人情報晒し被害経験	中国 13.9%	韓国、シンガポール 8.5%	フランス 8.2%	ドイツ 7.3%	フィンランド 6.4%	アメリカ 5.5%	イギリス 5.2%	日本 1.2%	チリ .9%	
個人情報悪用被害経験	中国 19.5%	韓国 11.2%	シンガポール 8.7%	イギリス 7.7%	フランス 5.9%	アメリカ 3.7%	フィンランド 2.5%	日本 1.9%	ドイツ 1.5%	チリ 1.2%
(全平均)	中国 13.4%	韓国 8.9%	シンガポール 7.4%	フランス 6.7%	イギリス 6.4%	フィンランド 6.4%	アメリカ 4.8%	ドイツ 3.7%	日本 2.7%	チリ 1.2%

(1) ネット上の悪口に関して、見聞した経験が多いのが日本(91.8%)・フィンランド(87.9%)・韓国(81.5%)であった。また、比較的不安が高いアメリカと日本について、日本は多く見聞経験があるのに対し、アメリカはあまり見聞経験がない(56.1%)ことが判明した。一方、フィンランドは多く見聞経験があるが、不安は低い。

(2) 個人情報晒しに関して、見聞した経験が多いのがドイツ(80.0%)、日本(77.3%)、中国(71.5%)、フランス(71.2%)であり、日本と中国は、上と同じく不安と見聞経験の両方が多いことが判明した。

(3) 個人情報悪用に関して、見聞した経験が多いのがドイツ(72.2%)、フランス(70.7%)、韓国(70.4%)、イギリス(69.6%)であり、日本の見聞経験はあまり多くはない(67.7%)。これは、自分で公開した個人情報が原因でストーキングなどの被害に遭うといった事件に関する報道があまり見られないためだと考えられる。また、見聞経験が多いドイツと韓国であるが、韓国は不安が大きい一方、ドイツは不安が小さい。

表5.3 CGMトラブル見聞経験

ネット上の悪口見聞経験	日本 91.8%	フィンランド 87.9%	韓国 81.5%	ドイツ 76.1%	中国 73.0%	フランス 72.4%	イギリス 67.9%	シンガポール 56.7%	アメリカ 56.1%	チリ 11.5%
個人情報晒し見聞経験	ドイツ 80.0%	日本 77.3%	中国 71.5%	フランス 71.2%	韓国 70.3%	フィンランド 59.4%	イギリス 52.1%	シンガポール 45.5%	アメリカ 42.7%	チリ 19.4%
個人情報悪用見聞経験	ドイツ 72.2%	フランス 70.7%	韓国 70.4%	イギリス 69.6%	中国 69.1%	アメリカ 68.9%	日本 67.7%	フィンランド 53.6%	シンガポール 45.2%	チリ 41.3%
(全平均)	日本 78.9%	ドイツ 76.1%	韓国 74.1%	フランス 71.4%	中国 71.2%	フィンランド 66.9%	イギリス 63.2%	アメリカ 55.9%	シンガポール 49.1%	チリ 24.1%

5.1.4 CGMトラブルの不安の大きさ・被害経験・見聞経験の国別比較

CGMトラブルの不安の大きさ・被害経験・見聞経験に関する国別比較について簡単にまとめたものを表5.4に示す。CGMトラブルに関して、一般に、アジアは不安が大きく、フィンランド・ドイツは少ない。そのうち、韓国・中国・フィンランドは被害経験が多く、日本・

ドイツは少ない。また、日本やドイツは見聞経験が多く、シンガポールは少ない。日本は報道されているようなトラブルに対しては、見聞経験が多く、被害経験が少ない割に、不安が大きい。

表5.4 CGMトラブルの不安の大きさ・被害経験・見聞経験の国別比較

	不安	大				小	
	被害経験	多		少		多	少
	見聞経験	多～中	少	多	少	多	少
ネット上の悪口	韓国、中国		日本	アメリカ	フィンランド	ドイツ	
個人情報晒し	中国、韓国		日本		フィンランド、ドイツ		
個人情報悪用	韓国、中国	シンガポール		日本		ドイツ	フィンランド

5.2. ネットショッピング・CGM(電子掲示板・ブログ・SNS)をめぐる不安要因

5.2.1. ネットショッピング利用者／非利用者の着目ポイント

別設問により得られたネットショッピング利用者(ネットショッピングを利用していると回答した者；3,300名中1,514名)に対して、複数の選択肢を提示し、重複回答を許した上で、「あなたは、インターネットショッピングを利用するにあたり、どのようなポイントに特に着目しますか？」という表現で、ネットショッピング利用時に着目するポイントについて調査した。有効回答のうち、その選択肢が選ばれた割合と国ごとのランキングを表5.5に示す。なお、選択肢としては、これまでの知見から、「取引相手が信用できるかどうか(表中では『信用』)」「利用者が多いかどうか(表中では『利用者数』)」「自分の情報を教えて大丈夫かどうか(表中では『情報預託』)」「保険が効くかどうか(表中では『保険』)」「取引相手のサポートがしっかりしているかどうか(表中では『サポート』)」「損しても気にしない額の取引かどうか(表中では『少額取引』)」「以前同じサイトで問題がなかったかどうか(表中では『過去問題』)」「取引相手をよく知っているかどうか(表中では『知悉』)」「評判のよい取引相手かどうか(表中では『評判』)」を採用した。また、国毎に選択者の割合が多い順に選択肢を並べたものを表5.6に示す。

なお、本節において、チリは国別順位で最下位がほとんどであり、基本的に言及はしない。

表5.5 ネットショッピング利用者の着目ポイント

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
信用	フィンランド 95.1%	日本 94.9%	韓国 87.8%	ドイツ 85.6%	イギリス 83.3%	シンガポール 82.3%	中国 75.6%	アメリカ 73.6%	フランス 71.6%	チリ 64.0%
利用者数	韓国 86.0%	イギリス 67.9%	日本 66.3%	シンガポール 61.5%	アメリカ 60.3%	中国 57.1%	フィンランド 52.5%	フランス 47.7%	ドイツ 42.5%	チリ 32.0%
情報預託	フィンランド 93.8%	イギリス 80.9%	日本 77.1%	アメリカ 72.8%	中国 72.0%	シンガポール 67.7%	韓国 66.9%	フランス 65.8%	ドイツ 53.1%	チリ 24.0%
保険	イギリス 81.5%	フランス 72.3%	アメリカ 69.9%	中国 68.5%	シンガポール 55.2%	ドイツ 46.9%	韓国 37.8%	日本 36.6%	フィンランド 31.5%	チリ 28.0%
サポート	日本 81.7%	シンガポール 68.8%	イギリス 67.3%	中国 63.7%	韓国 59.9%	アメリカ 58.6%	フランス 40.0%	ドイツ 38.1%	フィンランド 29.0%	チリ 16.0%
少額取引	韓国 76.2%	フィンランド 69.8%	日本 69.1%	イギリス 67.3%	シンガポール 64.6%	アメリカ 59.8%	中国 47.6%	フランス 34.2%	ドイツ 30.6%	チリ 12.0%
過去問題	フィンランド 81.5%	日本 75.4%	イギリス 65.4%	アメリカ 64.0%	シンガポール 63.5%	韓国 61.6%	中国 52.4%	ドイツ 41.3%	フランス 26.5%	チリ 24.0%
知悉	フィンランド 74.1%	イギリス 70.4%	シンガポール 61.5%	アメリカ 59.8%	韓国 58.7%	中国 52.4%	ドイツ 50.0%	日本 46.9%	チリ 32.0%	フランス 31.0%
評判	フィンランド 92.6%	イギリス 87.7%	日本 86.3%	韓国 82.6%	シンガポール 82.3%	ドイツ 80.6%	アメリカ 77.0%	中国 74.4%	フランス 56.1%	チリ 56.0%
(全平均)	イギリス 74.6%	日本 70.5%	フィンランド 68.9%	韓国 68.6%	シンガポール 67.5%	アメリカ 66.2%	中国 62.6%	ドイツ 52.1%	フランス 49.5%	チリ 32.0%

総じて多くのポイントに着目しているのは、フィンランド・日本・イギリスであり、一方、フランスとドイツは着目するポイントが少ない。

日本は、トラブルを出来るだけ回避しようとする為か、相手の信用(94.9%)、サポートの充実(81.7%)、相手の過去の問題(75.4%)といった利用前に確認できるポイントに着目している。一方、利用後に影響する保険については、日本はあまり着目せず(36.6%)、イギリス(81.5%)・フランス(72.3%)・アメリカ(69.9%)が着目している。これはトラブル発生を前提としている為かもしれない。

フィンランドは、保険とサポートの充実以外について、かなり多くの着目ポイントに着目しており、サービス利用にあたって慎重であることが窺われる。

韓国は、利用者の多さ(86.0%)や損しても気にしない程度の額の取引かどうか(76.2%)について、最も着目している。

シンガポールは、日本に次いで、サポートの充実に対する関心度が高い(68.8%)。

全体的に取引相手が信用できるか(82.7%)、評判のよい取引相手かどうか(79.5%)、自分の情報を教えても大丈夫かどうか(71.7%)を気にする者が多い。

フランスは全体的な傾向と違い、保険(72.3%)を最重要視している。イギリスも3位に保険が入っている(81.5%)。日本とシンガポールはサポートの充実(81.7%、68.8%)を気にし、韓国は利用者数(86.0%)を気にしている。

表5.6 ネットショッピング利用者の着目ポイント(各国ごとの選択肢の順位)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
日本	信用 94.9%	評判 86.3%	サポート 81.7%	情報預託 77.1%	過去問題 75.4%	少額取引 69.1%	利用者数 66.3%	知悉 46.9%	保険 36.6%
アメリカ	評判 77.0%	信用 73.6%	情報預託 72.8%	保険 69.9%	過去問題 64.0%	利用者数 60.3%	少額取引、知悉 59.8%		サポート 58.6%
チリ	信用 64.0%	評判 56.0%	利用者数、知悉 32.0%		保険 28.0%	情報預託、過去問題 24.0%		サポート 16.0%	少額取引 12.0%
中国	信用 75.6%	評判 74.4%	情報預託 72.0%	保険 68.5%	サポート 63.7%	利用者数 57.1%	過去問題、知悉 52.4%		少額取引 47.6%
韓国	信用 87.8%	利用者数 86.0%	評判 82.6%	少額取引 76.2%	情報預託 66.9%	過去問題 61.6%	サポート 59.9%	知悉 58.7%	保険 37.8%
シンガポール	信用 82.3%	評判 82.3%	サポート 68.8%	情報預託 67.7%	少額取引 64.6%	過去問題 63.5%	利用者数、知悉 61.5%		保険 55.2%
イギリス	評判 87.7%	信用 83.3%	保険 81.5%	情報預託 80.9%	知悉 70.4%	利用者数 67.9%	サポート、少額取引 67.3%		過去問題 65.4%
フィンランド	信用 95.1%	情報預託 93.8%	評判 92.6%	過去問題 81.5%	知悉 74.1%	少額取引 69.8%	利用者数 52.5%	保険 31.5%	サポート 29.0%
ドイツ	信用 85.6%	評判 80.6%	情報預託 53.1%	知悉 50.0%	保険 46.9%	利用者数 42.5%	過去問題 41.3%	サポート 38.1%	少額取引 30.6%
フランス	保険 72.3%	信用 71.6%	情報預託 65.8%	評判 56.1%	利用者数 47.7%	サポート 40.0%	少額取引 34.2%	知悉 31.0%	過去問題 26.5%
全体	信用 82.7%	評判 79.5%	情報預託 71.7%	利用者数 60.0%	過去問題 58.9%	少額取引 57.1%	知悉 55.7%	サポート 55.6%	保険 55.5%

5.2.2 ネットショッピング非利用者の着目ポイント

別設問により得られたネットショッピング利用者(ネットショッピングを利用していると回答した者)以外の者(3,300名中1,786名)に対して、複数の選択肢を提示し、重複回答を許した上で、「インターネットショッピングを利用することについて、どう思いますか?」という表現で、ネットショッピング非利用者が着目するポイントについて調査した。有効回答のうち、その選択肢が選ばれた割合と国ごとのランキングを表5.7に示す。なお、選択肢としては、これまでの知見から、「インターネットを使える環境にないので関係ない(表中では『環境なし』)」「興味がない(表中では『興味なし』)」「インターネットショッピングとは何か知らない(表中では『知らない』)」「どうすればよいか、よくわからないので利用しない(表中では『行動不明』)」「信用がおけないので利用しない(表中では『低い信用』)」「トラブルが起ころうなので利用しない(表中では『トラブル』)」「インターネットショッピングについて、よい評判を聞かないので利用しない(表中では『悪い評判』)」を採用した。また、国毎に選択者の割合が多い順に選択肢を並べたものを表5.8に示す。

なお、本節において、チリは国別順位で最下位がほとんどであり、基本的に言及はしない。

インターネット接続環境がないので関係ないと回答した者が多いのは、イギリス(41.1%)

とアメリカ(38.5%)で、ドイツ(4.7%)とフィンランド(4.8%)は少ない。日本(33.5%)と韓国(31.6%)もそこそこ多く、逆に中国(7.4%)はなかなか少ない。

興味がないと回答した者が多いのは、同じくイギリス(73.2%)とアメリカ(69.2%)で、中国(36.4%)・韓国(44.3%)・フランス(44.6%)が少ない。

それ以外のポイントについては、総じてアメリカとイギリスが高く、日本も比較的高い。一方、ドイツとフランスは総じて低い。

ネットショッピングを知らないについては、日本は順当に低い(5.8%)が、アメリカ(44.0%)・イギリス(36.3%)が意外と高かった。

どうすればよいかわからない・信用がおけない・よい評判をきかないについては、イギリス・アメリカに次いで、日本の順位も高い(36.1%, 49.7%, 29.7%)。

トラブルが起こりそうについては、日本はイギリス(54.8%)を押さえ、2位になっている(58.1%)。表5.8を参照するに、他の国に比べて、日本は、トラブルが起こりそうなので、ネットショッピングを利用しない、と言える。

表5.7 ネットショッピング非利用者の着目ポイント

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
環境なし	イギリス 41.1%	アメリカ 38.5%	チリ 34.8%	日本 33.5%	韓国 31.6%	シンガポール 17.9%	フランス 13.1%	中国 7.4%	フィンランド 4.8%	ドイツ 4.7%
興味なし	イギリス 73.2%	アメリカ 69.2%	シンガポール 59.4%	フィンランド 53.0%	日本 52.3%	ドイツ 50.0%	フランス 44.6%	韓国 44.3%	中国 36.4%	チリ 17.7%
知らない	アメリカ 44.0%	イギリス 36.3%	韓国 14.6%	シンガポール 13.2%	中国 12.3%	チリ 11.1%	日本 5.8%	フランス 4.6%	ドイツ 4.1%	フィンランド 2.4%
行動不明	イギリス 41.1%	アメリカ 36.3%	日本 36.1%	シンガポール 24.8%	韓国 23.4%	中国 21.6%	フィンランド 13.7%	チリ 8.2%	フランス 6.9%	ドイツ 6.5%
低い信用	イギリス 57.7%	アメリカ 53.8%	日本 49.7%	シンガポール 48.3%	韓国 41.1%	フィンランド 36.9%	中国 29.6%	フランス 13.1%	チリ 11.5%	ドイツ 8.8%
トラブル	アメリカ 59.3%	日本 58.1%	イギリス 54.8%	シンガポール 38.9%	韓国 38.6%	中国 32.1%	フィンランド 27.4%	ドイツ 11.2%	フランス 10.9%	チリ 7.2%
悪い評判	アメリカ 42.9%	イギリス 41.7%	日本 29.7%	シンガポール 29.1%	韓国 25.3%	中国 13.6%	フィンランド 13.1%	ドイツ 8.2%	フランス 4.0%	チリ 2.0%
(全平均)	イギリス 49.4%	アメリカ 49.1%	日本 37.9%	シンガポール 33.1%	韓国 31.3%	中国 21.9%	フィンランド 21.6%	フランス 13.9%	ドイツ 13.4%	チリ 13.2%

表5.8 ネットショッピング非利用者の着目ポイント(各国ごとの選択肢の順位)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
日本	トラブル 58.1%	興味なし 52.3%	低い信用 49.7%	行動不明 36.1%	環境なし 33.5%	悪い評判 29.7%	知らない 5.8%
アメリカ	興味なし 69.2%	トラブル 59.3%	低い信用 53.8%	知らない 44.0%	悪い評判 42.9%	環境なし 38.5%	行動不明 36.3%
チリ	環境なし 34.8%	興味なし 17.7%	低い信用 11.5%	知らない 11.1%	行動不明 8.2%	トラブル 7.2%	悪い評判 2.0%
中国	興味なし 36.4%	トラブル 32.1%	低い信用 29.6%	行動不明 21.6%	悪い評判 13.6%	知らない 12.3%	環境なし 7.4%
韓国	興味なし 44.3%	低い信用 41.1%	トラブル 38.6%	環境なし 31.6%	悪い評判 25.3%	行動不明 23.4%	知らない 14.6%
シンガ ポール	興味なし 59.4%	低い信用 48.3%	トラブル 38.9%	悪い評判 29.1%	行動不明 24.8%	環境なし 17.9%	知らない 13.2%
イギリス	興味なし 73.2%	低い信用 57.7%	トラブル 54.8%	悪い評判 41.7%	環境なし、行動不明 41.1%		知らない 36.3%
フィン ランド	興味なし 53.0%	低い信用 36.9%	トラブル 27.4%	行動不明 13.7%	悪い評判 13.1%	環境なし 4.8%	知らない 2.4%
ドイツ	興味なし 50.0%	トラブル 11.2%	低い信用 8.8%	悪い評判 8.2%	行動不明 6.5%	環境なし 4.7%	知らない 4.1%
フランス	興味なし 44.6%	環境なし 13.1%	低い信用 10.9%	トラブル 6.9%	行動不明 4.6%	知らない 4.0%	悪い評判 4.0%
全体	興味なし 47.1%	低い信用 32.7%	トラブル 30.6%	環境なし 22.7%	行動不明 20.1%	悪い評判 18.7%	知らない 13.3%

全体的に、興味なしである者が多い(47.1%)が、CGM非利用者の場合とは違い、環境なしはそれほど多くはない(22.7%)。日本は興味なし(52.3%)よりもトラブルが起こりそう(58.1%)と考える者の方が多い。

全体的な2位は、信用がおけない(32.7%)であり、3位はトラブルが起こりそう(30.6%)である。その通りの順序なのは、イギリス(57.7%, 54.8%)・シンガポール(48.3%, 38.9%)・韓国(41.1%, 38.6%)・フィンランド(36.9%, 27.4%)・フランス(13.1%, 10.9%)・チリ(11.5%, 7.2%)であり、逆順なのは、アメリカ(59.3%, 53.8%)・日本(58.1%, 49.7%)・中国(32.1%, 29.6%)・ドイツ(11.2%, 8.8%)。

5.2.3 CGM利用者の着目ポイント

別設問により得られたCGM利用者(SNSの読み書き、ブログの読み書き、電子掲示板のいずれかを利用していると回答した者；3,300名中1,795名)に対して、複数の選択肢を提示し、重複回答を許した上で、「ブログのコメント欄・SNS・電子掲示板などインターネットで何かを書き込むにあたり、どのようなポイントに特に着目しますか？」という表現で、CGM利用時に着目するポイントについて調査した。有効回答のうち、その選択肢が選ばれた割合と国ごとのランキングを表5.9に示す。なお、選択肢としては、これまでの知見から、「サイト

が信用できるか(表中では『信用』)」「サイトの利用者が多いか(表中では『利用者数』)」「自分の発言に対する反応を予測できるか(表中では『反応予測』)」「サイトの発言の流れを思い通りにできるか(表中では『流れ制御』)」「自分が十分なコミュニケーション能力を発揮できるかどうか(表中では『コミュカ』)」「速やかな削除などサイト管理人の対応がよいか(表中では『管理人』)」「以前同じサイトで問題がなかったかどうか(表中では『過去問題』)」「サイトをよく知っているか(表中では『知悉』)」「評判のよいサイトかどうか(表中では『評判』)」を採用した。また、国毎に選択者の割合が多い順に選択肢を並べたものを表5.10に示す。なお、本節において、チリは国別順位で最下位がほとんどであり、基本的に言及はしない。

表5.9 CGM利用者の着目ポイント

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
信用	イギリス 85.6%	日本 81.6%	フィンランド 79.8%	シンガポール 72.4%	アメリカ 71.4%	韓国 63.6%	ドイツ 62.0%	中国 62.0%	フランス 50.9%	チリ 36.9%
利用者数	イギリス 69.7%	韓国 63.1%	フィンランド 62.1%	アメリカ 61.7%	シンガポール 60.4%	日本 50.6%	中国 43.7%	フランス 41.4%	ドイツ 34.3%	チリ 22.5%
反応予測	アメリカ 63.9%	イギリス 60.5%	韓国 51.5%	日本 50.6%	中国 50.2%	シンガポール 46.9%	フィンランド 32.3%	フランス 27.6%	ドイツ 21.2%	チリ 17.1%
流れ制御	アメリカ 63.9%	イギリス 59.5%	中国 47.9%	フィンランド 46.5%	シンガポール 43.2%	韓国 43.2%	フランス 35.3%	ドイツ 27.0%	チリ 19.8%	日本 19.6%
コミュカ	イギリス 67.7%	アメリカ 62.1%	シンガポール 55.7%	フィンランド 55.1%	韓国 51.9%	日本 43.0%	中国 42.3%	フランス 31.9%	ドイツ 20.4%	チリ 10.8%
管理人	イギリス 83.6%	フィンランド 78.8%	日本 65.2%	シンガポール 65.1%	アメリカ 65.1%	韓国 61.2%	中国 53.1%	フランス 49.1%	ドイツ 48.9%	チリ 8.1%
過去問題	アメリカ 61.3%	イギリス 60.5%	フィンランド 57.1%	シンガポール 56.8%	日本 47.5%	韓国 44.2%	中国 39.0%	ドイツ 34.3%	フランス 22.4%	チリ 18.9%
知悉	イギリス 82.1%	フィンランド 69.7%	日本 69.6%	アメリカ 69.1%	シンガポール 66.7%	韓国 51.9%	ドイツ 51.1%	中国 46.9%	フランス 42.2%	チリ 30.6%
評判	イギリス 86.7%	フィンランド 75.3%	アメリカ 71.7%	日本 67.7%	シンガポール 66.7%	韓国 61.2%	中国 58.7%	ドイツ 54.7%	フランス 54.3%	チリ 23.4%
(全平均)	イギリス 72.9%	アメリカ 65.6%	フィンランド 61.8%	シンガポール 59.3%	日本 55.1%	韓国 54.6%	中国 49.3%	フランス 39.5%	ドイツ 39.3%	チリ 20.9%

全体的にサイトの信用(68.7%)とサイトの評判(64.7%)を気にする者が多く、サイトの発言の流れの制御性を気にする者(43.7%)が最も少ない。

また、イギリスとアメリカの回答者は着目ポイントが総じて多く、ドイツ・フランス・中国は総じて少ない。

日本はサイトの信用(81.6%)、サイトに関する知識(69.6%)、管理人の対応(65.2%)といった利用前にある程度判断できるポイントに着目する一方、サイトの発言の流れの制御性はあまり気にしない(19.6%)。

逆に発言の流れの制御性を気にするのが、アメリカ(63.9%)とイギリス(59.5%)で、両国は自分の発言に対する反応予測(63.9%, 60.5%)や自分のコミュニケーション能力が十分発揮できるか(62.1%, 67.7%)といった(利用中の)コミュニケーションに関するポイントを特に気にしている。

サイトの過去の問題を最も気にするのはアメリカ(61.3%)で、日本(47.5%)もそこそこ気にしている。

フィンランドは、管理人の対応(78.8%)とサイトに関する知識(69.7%)とサイトの評判(75.3%)について、それぞれイギリスに次いで2番目に気にしている。

表5.10を参照するに、韓国は利用者数の多さを割と気にしているようであるが、一方、アメリカは比較的他のポイントの方を重要視している。

表5.10 CGM利用者の着目ポイント(各国ごとの選択肢の順位)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
日本	信用 81.6%	知悉 69.6%	評判 67.7%	管理人 65.2%	利用者数、反応予測 50.6%	過去問題 47.5%	コミュニカ 43.0%	流れ制御 19.6%	
アメリカ	評判 71.7%	信用 71.4%	知悉 69.1%	管理人 65.1%	反応予測、流れ制御 63.9%	コミュニカ 62.1%	利用者数 61.7%	過去問題 61.3%	
チリ	信用 36.9%	知悉 30.6%	評判 23.4%	利用者数 22.5%	流れ制御 19.8%	過去問題 18.9%	反応予測 17.1%	コミュニカ 10.8%	管理人 8.1%
中国	信用 62.0%	評判 58.7%	管理人 53.1%	反応予測 50.2%	流れ制御 47.9%	知悉 46.9%	利用者数 43.7%	コミュニカ 42.3%	過去問題 39.0%
韓国	信用 63.6%	利用者数 63.1%	管理人 61.2%	評判 61.2%	コミュニカ 51.9%	知悉 51.9%	反応予測 51.5%	過去問題 44.2%	流れ制御 43.2%
シンガポール	信用 72.4%	知悉 66.7%	評判 66.7%	管理人 65.1%	利用者数 60.4%	過去問題 56.8%	コミュニカ 55.7%	反応予測 46.9%	流れ制御 43.2%
イギリス	評判 86.7%	信用 85.6%	管理人 83.6%	知悉 82.1%	利用者数 69.7%	コミュニカ 67.7%	反応予測、過去問題 60.5%	流れ制御 59.5%	
フィンランド	信用 79.8%	管理人 78.8%	評判 75.3%	知悉 69.7%	利用者数 62.1%	過去問題 57.1%	コミュニカ 55.1%	流れ制御 46.5%	反応予測 32.3%
ドイツ	信用 62.0%	評判 54.7%	知悉 51.1%	管理人 48.9%	利用者数、過去問題 34.3%	流れ制御 27.0%	反応予測 21.2%	コミュニカ 20.4%	
フランス	評判 54.3%	信用 50.9%	管理人 49.1%	知悉 42.2%	利用者数 41.4%	流れ制御 35.3%	コミュニカ 31.9%	反応予測 27.6%	過去問題 22.4%
全体	信用 68.7%	評判 64.7%	管理人 60.9%	知悉 60.3%	利用者数 53.7%	コミュニカ 47.7%	過去問題 47.2%	反応予測 45.5%	流れ制御 43.7%

5.2.4 CGM非利用者の着目ポイント

別設問により得られたCGM利用者(SNSの読み書き、ブログの読み書き、電子掲示板のいずれかを利用していると回答した者)以外の者(3,300名中1,505名)に対して、複数の選択肢を提示し、重複回答を許した上で、「ブログのコメント欄・SNS・電子掲示板などインターネットで何かを書き込むことについて、どう思いますか?」という表現で、CGM非利用者が着目するポイントについて調査した。有効回答のうち、その選択肢が選ばれた割合と国ごとのランキングを表5.11に示す。なお、選択肢としては、これまでの知見から、「インターネットを使える環境にないので関係ない(表中では『環境なし』)」「興味がない(表中では『興味なし』)」「ブログ・SNS・電子掲示板とは何か知らない(表中では『知らない』)」「どのように書き込んでよいか、よくわからないので利用しない(表中では『行動不明』)」「信用がおけないので利用しない(表中では『低い信用』)」「トラブルが起ころうなので利用しない(表中では『トラブル』)」「ブログ・SNS・電子掲示について、よい評判を聞かないので利用しない(表中では『悪い評判』)」を採用した。また、国毎に選択者の割合が多い順に選択肢を並べたものを表5.12に示す。

なお、本節において、チリは国別順位で最下位がほとんどであり、基本的に言及はしない。

表5.11 CGM非利用者の着目ポイント

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
環境なし	チリ 72.1%	イギリス 49.6%	フィンランド 44.7%	シンガポール 35.5%	韓国 32.3%	日本 31.4%	アメリカ 19.7%	中国 12.8%	フランス 7.9%	ドイツ 4.1%
興味なし	フィンランド 80.3%	日本 75.6%	シンガポール 68.1%	アメリカ 63.9%	イギリス 58.5%	ドイツ 48.7%	韓国 43.5%	フランス 37.4%	中国 35.0%	チリ 23.3%
知らない	シンガポール 50.0%	イギリス 34.1%	韓国 29.8%	日本 28.5%	中国 19.7%	アメリカ 18.0%	チリ 16.0%	フィンランド 15.2%	ドイツ 5.7%	フランス 5.6%
行動不明	シンガポール 52.9%	日本 49.4%	イギリス 45.2%	韓国 29.8%	フィンランド 24.2%	中国 22.2%	アメリカ 14.8%	チリ 14.6%	フランス 9.3%	ドイツ 8.8%
低い信用	イギリス 62.2%	シンガポール 58.7%	日本 49.4%	アメリカ 34.4%	韓国 33.9%	フィンランド 25.8%	中国 24.8%	ドイツ 20.7%	フランス 11.2%	チリ 10.5%
トラブル	シンガポール 55.8%	アメリカ 55.7%	日本 54.1%	イギリス 51.9%	韓国 33.9%	フィンランド 29.5%	中国 28.2%	ドイツ 11.4%	フランス 10.3%	チリ 8.7%
悪い評判	イギリス 42.2%	シンガポール 37.0%	日本 34.3%	韓国 29.0%	アメリカ 23.0%	中国 22.2%	フィンランド 19.7%	チリ 14.2%	ドイツ 8.3%	フランス 7.0%
(全平均)	シンガポール 51.1%	イギリス 49.1%	日本 46.1%	フィンランド 34.2%	韓国 33.2%	アメリカ 32.8%	中国 23.6%	チリ 22.8%	ドイツ 15.4%	フランス 12.7%

ネット接続環境がないので関係ないと回答した者が多いのは、イギリス(49.6%)とフィンランド(44.7%)であり、一方、ドイツ(4.1%)とフランス(7.9%)は少ない。日本(31.4%)はそこそこ多く、逆に中国(12.8%)はなかなか少ない。

興味がないと回答した者が多いのは、フィンランド(80.3%)・日本(75.6%)・シンガポール(68.1%)で、一方、フランス(37.4%)と中国(35.0%)が少ない。

それ以外のポイントについては、シンガポール・イギリス・日本が総じて高く、ドイツとフランスが総じて低い。意外にも韓国はCGMを知らない者の多さが3位であり、アメリカは日本よりもトラブルが起こりそうなので、CGMを利用しない。日本は、どのように書き込んでよいかわからないので、CGMを利用しない。

各国のごとの自国内ランキングを見ると、興味がない者やインターネット環境がないので関係ない者が多いが、それに次いで、信用がおけないので利用しない者やトラブルが起こりそうなので利用しない者が全体的に多い。イギリスは特に信用がおけないと考えている者が多い。

表5.12 CGM非利用者の着目ポイント(各国ごとの選択肢の順位)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
日本	興味なし 75.6%	トラブル 54.1%	低い信用 49.4%	行動不明	悪い評判 34.3%	環境なし 31.4%	知らない 28.5%
アメリカ	興味なし 63.9%	トラブル 55.7%	低い信用 34.4%	悪い評判 23.0%	環境なし 19.7%	知らない 18.0%	行動不明 14.8%
チリ	環境なし 72.1%	興味なし 23.3%	知らない 16.0%	行動不明 14.6%	悪い評判 14.2%	低い信用 10.5%	トラブル 8.7%
中国	興味なし 35.0%	トラブル 28.2%	低い信用 24.8%	行動不明、悪い評判 22.2%	知らない 19.7%	環境なし 12.8%	
韓国	興味なし 43.5%	低い信用 33.9%	トラブル	環境なし 32.3%	知らない、行動不明 29.8%	悪い評判	29.0%
シンガポール	興味なし 68.1%	低い信用 58.7%	トラブル 55.8%	行動不明 52.9%	知らない 50.0%	悪い評判 37.0%	環境なし 35.5%
イギリス	低い信用 62.2%	興味なし 58.5%	トラブル 51.9%	環境なし 49.6%	行動不明 45.2%	悪い評判 42.2%	知らない 34.1%
フィンランド	興味なし 80.3%	環境なし 44.7%	トラブル 29.5%	低い信用 25.8%	行動不明 24.2%	悪い評判 19.7%	知らない 15.2%
ドイツ	興味なし 48.7%	低い信用 20.7%	トラブル 11.4%	行動不明 8.8%	悪い評判 8.3%	知らない 5.7%	環境なし 4.1%
フランス	興味なし 37.4%	低い信用 11.2%	トラブル 10.3%	行動不明 9.3%	環境なし 7.9%	悪い評判 7.0%	知らない 5.6%
全体	興味なし 51.0%	環境なし 31.8%	低い信用 30.8%	トラブル 30.0%	行動不明 26.0%	悪い評判 22.0%	知らない 20.8%

5.3. 苦痛予想と発生確率の見積もり

何らかのトラブルが発生した際に感じる苦痛の大きさと、そのトラブルが起こると思われる発生頻度の関係を調べるため、それぞれについて調査した。質問に対して回答し易くする為に、トラブルとして、具体的に「個人情報漏えい」と設定し、設問中では、「インターネットで、自分の住所や電話番号が漏えいする」という表現を採用した。

トラブル発生時の苦痛の大きさとしては、「とても苦痛」「やや苦痛」「あまり苦痛ではない」「まったく苦痛ではない」といった選択肢を用意し、想定するトラブル発生頻度としては、「良く起こる」「ときどき起こる」「あまり起こらない」「まったく起こらない」といった選択肢を用意した。なお、本節において、チリは国別順位で最下位がほとんどであり、基本的に言及はしない。

5.3.1 トラブル発生時の苦痛の大きさ

個人情報漏えい発生時の苦痛の大きさの分布について、図5.1に示した。また、全回答において「とても苦痛」または「やや苦痛」と回答した者の割合の国別順位を国名の後の括弧書きの中に記述した。

「とても苦痛」と「やや苦痛」の合計が多かったのは、中国(92.5%)、韓国(92.5%)、日本(90.3%)であり、シンガポール(84.0%)やアメリカ(79.7%)がそれに続く。一方、苦痛とあまり感じないのは、イギリス(44.2%)、フィンランド(45.5%)であった。

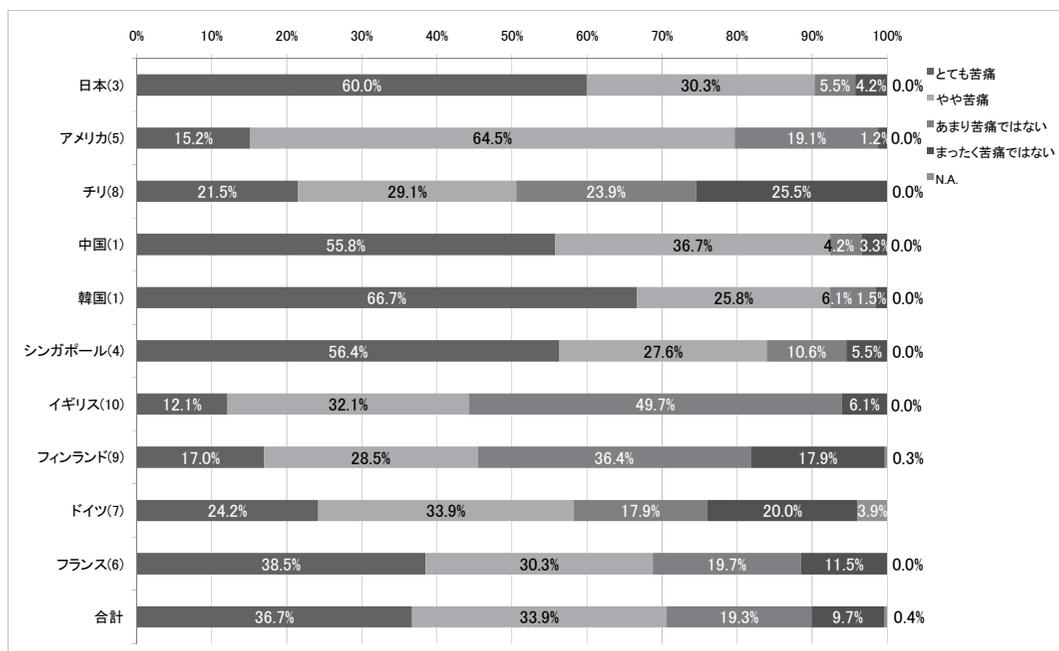


図5.1 個人情報漏えい発生時の苦痛の大きさ

5.3.2 想定するトラブル発生頻度

次に、個人情報漏えいがどの程度よく起こり易いと思うかに関するグラフを図5.2に示す。また、全回答において「よく起こる」または「ときどき起こる」と回答した者の割合

の国別順位を国名の後の括弧書きの中に記述した。

「よく起こる」と「ときどき起こる」の合計が多かったのは、日本(59.1%)、韓国(52.8%)、中国(50.6%)であり、少なかったのは、フィンランド(13.3%)とシンガポール(15.7%)であった。

5.3.3 リスク発生時の苦痛とリスクの発生し易さの国別比較

リスクを個人情報漏えいとし、リスクが発生した時の苦痛とリスクの発生し易さの国別比較について簡単にまとめたものを表 5.13 に示す。日本・韓国・中国は苦痛が大きく、多く発生すると考え、シンガポールは苦痛は大きい、あまり発生しないと考えている。また、フィンランド・イギリスは苦痛は小さく、あまり発生しないと考えている。

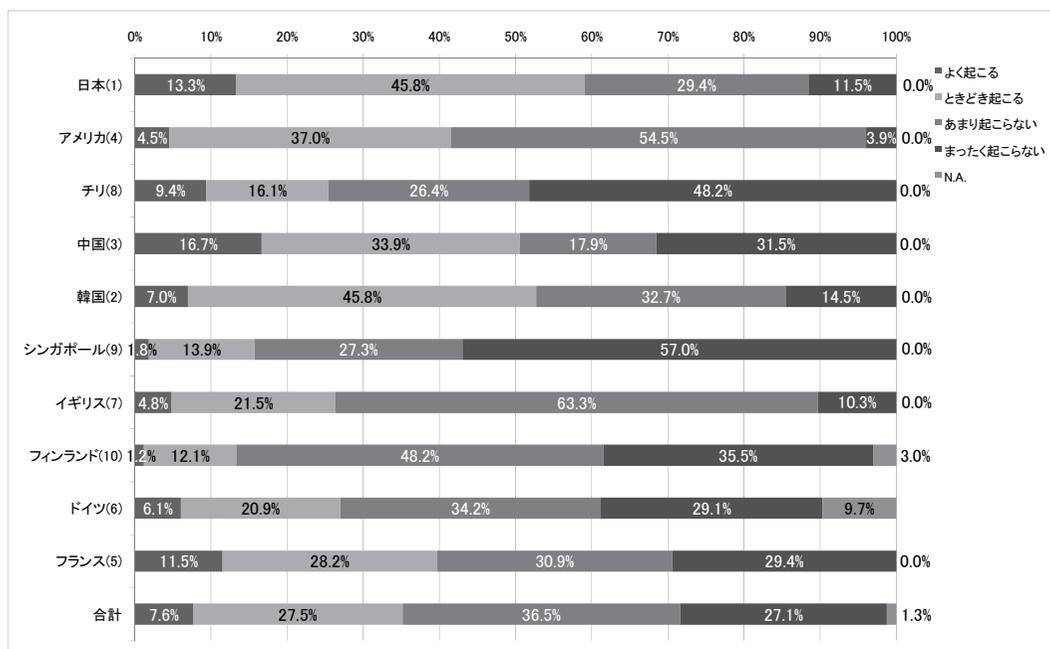


図5.2 想定する個人情報漏えいの発生頻度

表 5.13 リスク発生時の苦痛とリスクの発生し易さの国別比較

	苦痛	大		小	
	発生し易さ	多	少	多	少
個人情報漏えい		日本、韓国、中国	シンガポール		フィンランド、イギリス

5.3.4 両者と不安の大きさとの関係

ここでは、個人情報漏えい(住所や電話番号を登録したインターネットサービス事業者から、それらの情報が流出する)ことへの不安の大きさの調査結果と併せて分析した結果を紹介する。

上記の個人情報漏えいが起こることに対する不安の大きさに関するグラフを図5.3に示す。また、全回答において「とても不安」または「やや不安」と回答した者の割合の国別順位を国名の後の括弧書きの中に記述した。

「とても不安」と「やや不安」の合計が多かったのは、韓国(92.0%)、日本(90.3%)、中国(90.0%)であり、シンガポール(85.6%)がそれに続く。一方、あまり不安に思わないのは、チリ(8.7%)、フィンランド(37.5%)、ドイツ(53.3%)であった。

図5.1、図5.2、図5.3で結果を表した三つの間に関して、「とても苦痛／よく起こる／とても不安」を4点、「やや苦痛／ときどき起こる／やや不安」を3点、「あまり苦痛ではない／あまり起こらない／あまり不安ではない」を2点、「まったく苦痛ではない／まったく起こらない／まったく不安ではない」を1点とした点数をそれぞれ個人情報漏えい苦痛得点、個人情報漏えい発生確率得点、個人情報漏えい不安得点とし、それぞれの平均値と相関を表5.14に示す。

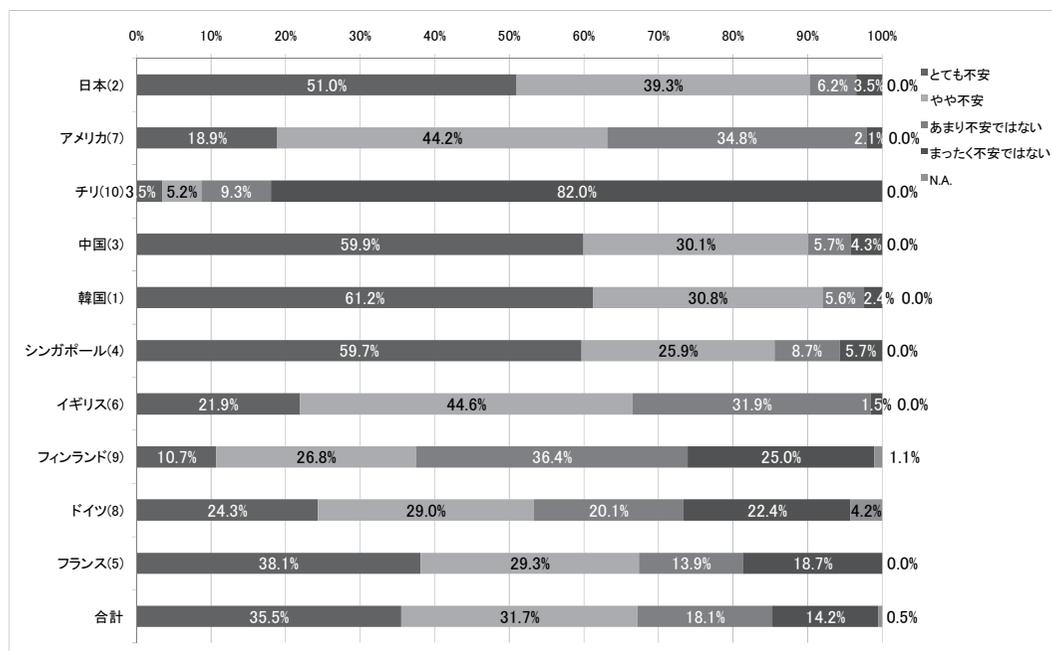


図5.3 個人情報漏えいに対する不安の大きさ

表5.14 個人情報漏えい苦痛得点と個人情報漏えい発生確率得点と個人情報漏えいの不安得点の平均と相関

	日本	アメリカ	チリ	中国	韓国	シンガポール	イギリス	フィンランド	ドイツ	フランス
個人情報漏えい苦痛得点(A)の平均	3.46 ^②	2.94	2.47	3.45 ^③	3.58 ^①	3.35	2.50	2.45	2.65	2.96
個人情報漏えい発生確率得点(B)の平均	2.61 ^①	2.42 ^③	1.87	2.36	2.45 ^②	1.61	2.21	1.78	2.04	2.22
個人情報漏えい不安得点(C)の平均	3.38	2.80	1.30	3.46 ^②	3.51 ^①	3.40 ^③	2.87	2.23	2.58	2.87
AとBのPearsonの相関係数	.056	.264***	.393***	.152**	.088	-.021	.199***	-.012	-.055	.066
有意確率(両側)	.310	.000	.000	.006	.109	.710	.000	.830	.346	.233
AとCのPearsonの相関係数	.376***	.289**	.055	.388***	.533***	.547***	.423***	.429***	.623***	.358***
有意確率(両側)	.000	.000	.471	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000
BとCのPearsonの相関係数	.111	.112*	.032	.154**	.111	.075	.213**	.155*	-.087	.052
有意確率(両側)	.076	.042	.676	.009	.079	.228	.001	.011	.193	.392

苦痛得点が高かったのは、韓国(3.58)・日本(3.46)・中国(3.45)であり、最も低いフィンランドでも2.45と全般的に大きい傾向が見られた。

発生確率得点については、日本が最も高く(2.61)、シンガポールが最も低かった(1.61)。

また、苦痛得点と発生確率得点の相関については、チリ・アメリカ・イギリス・中国で有意な相関が見られ、発生確率得点と不安得点の相関については、イギリス・フィンランド・中国・アメリカで有意な相関が見られた。苦痛得点と不安得点は、チリを除くすべての国で有意な相関が得られたので、汎的に大きな相関があると考えられる。

5.4. 子どもによる有害情報閲覧に対する不安

複数の選択肢を提示し、重複回答を許した上で、インターネットで子どもがポルノや薬物などの有害情報を見てしまうことに対して、問題だと思ふものについて調査を行った。有効回答のうち、その選択肢が選ばれた割合と国ごとの順位を示した表を表5.15に示す。なお、選択肢としては、これまでの知見から、「子どもが自由にインターネットに接続できること(表中では『接続容易性が問題』)」「親が子どもにネットの適切な使い方を教えていないこと(表中では『親が問題』)」「学校が子どもにネットの適切な使い方を教えていないこと(表中では『学校が問題』)」「ネット上の有害情報の発信者が罰せられないこと(表中では『取り締まりが問題』)」「サイトの管理者が有害情報をきちんと削除しないこと(表中では『管理者が問題』)」を採用した。また、表5.15を国を固定して並べ直したものを表5.16に示す。さらに、国毎に選択者の割合が多い順に選択肢を並べたものを表5.17に示す。

なお、本節において、チリは国別順位で最下位がほとんどであり、基本的に言及はしない。

表5.15 子どもによる有害情報閲覧における問題点

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
接続容易性が問題	フィンランド 75.8%	イギリス 73.6%	韓国 72.4%	日本 68.2%	アメリカ 67.3%	シンガポール 61.8%	ドイツ 56.7%	中国 56.7%	フランス 42.1%	チリ 9.4%
親が問題	フィンランド 80.6%	日本 79.7%	イギリス 68.5%	ドイツ 63.6%	フランス 63.3%	韓国、シンガポール 59.7%	アメリカ 58.8%	中国 48.8%	チリ 22.1%	
学校が問題	イギリス 70.6%	アメリカ 62.1%	韓国 53.0%	シンガポール 51.8%	フィンランド 50.6%	中国 47.6%	日本 45.5%	ドイツ 33.9%	フランス 29.4%	チリ 20.6%
取り締まりが問題	イギリス 83.9%	日本 82.4%	アメリカ 74.2%	韓国 71.5%	フィンランド 68.2%	ドイツ 58.2%	シンガポール 55.5%	中国 52.1%	フランス 45.2%	チリ 34.2%
管理者が問題	イギリス 84.8%	日本 81.8%	フィンランド 78.8%	アメリカ 76.1%	韓国 67.9%	中国 62.4%	シンガポール 59.7%	ドイツ 47.3%	フランス 45.8%	チリ 20.3%
(全平均)	イギリス 76.28%	日本 71.52%	フィンランド 70.80%	アメリカ 67.70%	韓国 64.90%	シンガポール 57.70%	中国 53.52%	ドイツ 51.94%	フランス 45.16%	チリ 21.32%

全体として、もっとも問題があると考えられているのが「ネット上の有害情報の発信者が罰せられないことが問題」(62.5%)と「サイトの管理者が有害情報をきちんと削除しないことが問題」(62.5%)であり、それらについてイギリス(83.9%, 84.8%)や日本(82.4%, 81.8%)が強く問題視している。後者について、イギリスとは対照的に、ドイツ(47.3%)とフランス(45.8%)はさほど問題視していない。

「学校が子どもにネットの適切な使い方を教えていないことが問題」と考えているのは、イギリス(70.6%)とアメリカ(62.1%)であり、ドイツ(33.9%)とフランス(29.4%)はそれほど問題視していない。

「子どもが自由にインターネットに接続できることが問題」および「親が子どもにネットの適切な使い方を教えていないことが問題」と最も考えているのはフィンランド(75.8%, 80.6%)であり、後者については日本が2位(79.7%)であった。

表5.16 子どもによる有害情報閲覧における問題点(国固定)

	全体	日本	アメリカ	チリ	中国	韓国	シンガポール	イギリス	フィンランド	ドイツ	フランス
接続容易性が問題	58.4%	68.2%	67.3%	9.4%	56.7%	72.4%	61.8%	73.6%	75.8%	56.7%	42.1%
順位		4	5	10	8	3	6	2	1	7	9
親が問題	60.5%	79.7%	58.8%	22.1%	48.8%	59.7%	59.7%	68.5%	80.6%	63.6%	63.3%
順位		2	8	10	9	6	6	3	1	4	5
学校が問題	46.5%	45.5%	62.1%	20.6%	47.6%	53.0%	51.8%	70.6%	50.6%	33.9%	29.4%
順位		7	2	10	6	3	4	1	5	8	9
取り締まりが問題	62.5%	82.4%	74.2%	34.2%	52.1%	71.5%	55.5%	83.9%	68.2%	58.2%	45.2%
順位		2	3	10	8	4	7	1	5	6	9
管理者が問題	62.5%	81.8%	76.1%	20.3%	62.4%	67.9%	59.7%	84.8%	78.8%	47.3%	45.8%
順位		2	4	10	6	5	7	1	3	8	9

表 5.17 を参照すると日本は、取り締まりが問題(82.4%)、管理者が問題(81.8%)、親が問題(79.7%)、接続容易性が問題(68.2%)、学校が問題(45.5%)という順で問題視しており、全体の順序と同じであった。

一方、英米も同じ順序であり、管理者(84.8%, 76.1%)と取り締まり(83.9%, 74.2%)が悪いという結果が得られ、似たようなメンタリティを持っていることが窺われる。

また、日本以外のアジアでは接続容易性が問題とされ、イギリス以外のヨーロッパでは、親が問題とされている。

表5.17 子どもによる有害情報閲覧における問題点(国ごとの順位)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	取り締まり 62.5%	管理者 62.5%	親 60.5%	接続容易性 58.4%	学校 46.5%
日本	取り締まり 82.4%	管理者 81.8%	親 79.7%	接続容易性 68.2%	学校 45.5%
アメリカ	管理者 76.1%	取り締まり 74.2%	接続容易性 67.3%	学校 62.1%	親 58.8%
チリ	取り締まり 34.2%	親 22.1%	学校 20.6%	管理者 20.3%	接続容易性 9.4%
中国	管理者 62.4%	接続容易性 56.7%	取り締まり 52.1%	親 48.8%	学校 47.6%
韓国	接続容易性 72.4%	取り締まり 71.5%	管理者 67.9%	親 59.7%	学校 53.0%
シンガポール	接続容易性 61.8%	親 59.7%	管理者 59.7%	取り締まり 55.5%	学校 51.8%
イギリス	管理者 84.8%	取り締まり 83.9%	接続容易性 73.6%	学校 70.6%	親 68.5%
フィンランド	親 80.6%	管理者 78.8%	接続容易性 75.8%	取り締まり 68.2%	学校 50.6%
ドイツ	親 63.6%	取り締まり 58.2%	接続容易性 56.7%	管理者 47.3%	学校 33.9%
フランス	親 63.3%	管理者 45.8%	取り締まり 45.2%	接続容易性 42.1%	学校 29.4%